

愛川町図書館構想

平成27年3月

目 次

序. 図書館構想策定の背景と趣旨	1
1. 愛川町の概況	2
(1) 町のプロフィール	2
(2) 交通	2
(3) 人口	2
2. 図書館とその利用状況	3
(1) 図書館の状況	3
(2) 利用等の状況	4
3. 図書館や読書に関する住民の実態・ニーズ等	6
(1) 図書館に関する住民アンケート調査から	6
(2) 図書館に関する小中学生アンケート調査から	18
(3) 関係団体ヒアリングから	26
(4) 県内自治体の公立図書館視察から	30
4. 図書館を取り巻く課題	32
5. 図書館構想の基本的方向性	34
(1) 基本理念	34
(2) 基本方針	35

6. 新図書館が目指す機能	38
(1) 図書館としての核機能	38
(2) 核機能を支えるためのサービス機能	39
(3) 身近な図書館となるための機能	40
7. 新図書館の施設整備	41
8. 新図書館の管理・運営	43
(1) 利用者へのサービス充実の視点	43
(2) 効果的な管理・運営の視点	44
資料編	47

序. 図書館構想策定の背景と趣旨

公立図書館は、図書館法に基づき設置する施設であり、図書の貸出やレファレンスサービス^(注)などによる資料（情報）の提供を通じて、人々の知る権利と個人の学ぶ自由を保障する施設でもあります。

また、今日、図書館には、地域に暮らす住民が生き生きとした生活を営むためのまちづくり・ひとづくりや生涯学習・地域文化の拠点施設としての機能・役割も期待されており、住民の暮らしにとって欠くことのできない重要な施設となっています。

本町には、文化会館の2階にある図書館のほか、半原公民館図書室、中津公民館図書室があり、1図書館・2図書室の体制により図書館サービスを提供していますが、図書館を含め、いずれもが社会教育法に基づく公民館図書室であり、蔵書冊数や閲覧スペース、情報化への対応など、図書館としての十分な機能を有しているとは言えない状況となっています。

また、平成23年3月に策定した『第5次愛川町総合計画』においては、「図書館機能の充実」を課題として捉えるとともに、「生涯学習の拠点施設としての図書館の構想づくり」を進めることとしています。

そこで、平成25年度からの2か年計画で、住民等を委員とする「愛川町図書館構想策定委員会」を設置するとともに、庁内には職員により構成される「愛川町図書館構想策定検討会」及び「愛川町図書館構想策定ワーキンググループ」を設置し、新図書館の基本となる指針をまとめ、目指す機能や施設の整備、さらには管理・運営に関することを盛り込んだ愛川町図書館構想を策定することとしました。

(注) レファレンスサービスとは、情報を求めている方に調べている事柄に関する資料を提示したり、文献探しの支援を行ったりするサービスです。

1. 愛川町の概況

(1) 町のプロフィール

- 愛川町は、神奈川県の中北部に位置し、都心から 50km 圏内、横浜から 30km 圏内にあり、相模原市・厚木市・清川村と隣接し、西部には丹沢山塊に連なる山並み、そして相模川と中津川の清流に挟まれた自然豊かな台地からなっている。
- かつては養蚕、撚糸等の繊維工業が盛んであったが、県内陸工業団地の完成（昭和 41 年）後は製造業や流通業を中心とする経済活動が活発となっている。
- また、宮ヶ瀬ダムの完成（平成 12 年）に伴い、周辺には県立あいかわ公園や愛川町郷土資料館等が整備されるなど観光的な魅力を兼ね備えた町となっている。

(2) 交通

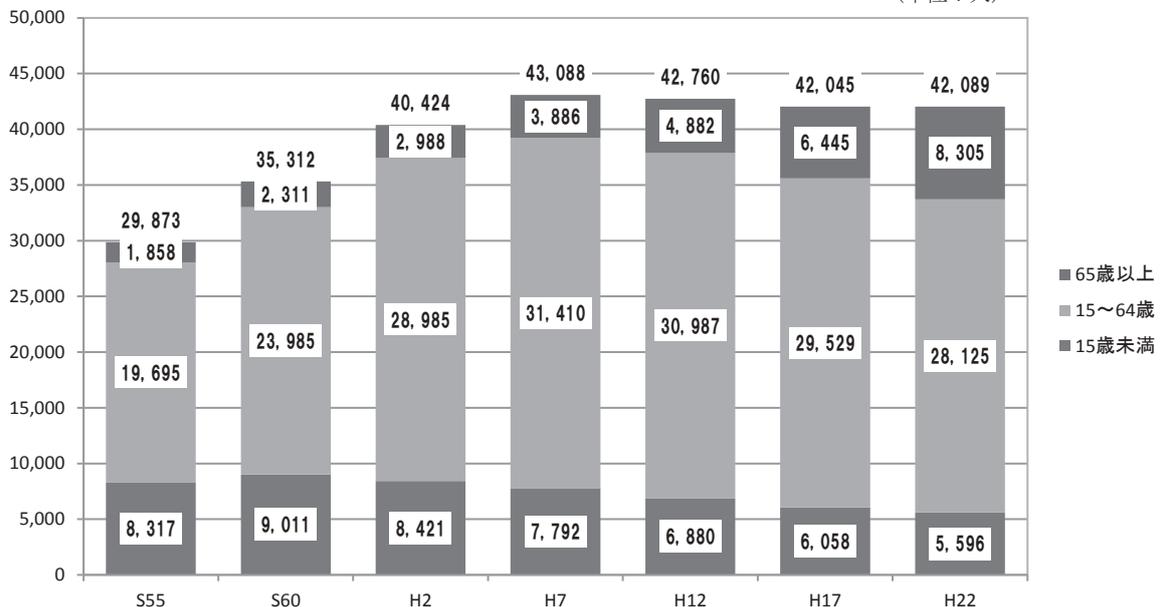
- 町内の幹線道路は、国道 412 号、県道 54 号（相模原愛川線）、県道 63 号（相模原大磯線）、県道 65 号（厚木愛川津久井線）等で構成され、相互に連絡し本町と周辺都市を結んでいる。
- 広域的な公共交通機関としては、町内に鉄道はないが、民間路線バスが本町と周辺拠点である本厚木駅や海老名駅・相模原市内のバスターミナルを結んでいるほか、町営の循環バスが町内 3 ルートを運行している。
- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備に伴い、相模原愛川インターチェンジから東名高速道路、中央自動車道、関越自動車道への乗り入れが可能となり、自動車による移動手段の利便性が向上している。

(3) 人口

- 人口については、平成 7 年（43,088 人）までは増加傾向で推移していたが、その後は、全国的な少子・高齢化等を背景に、緩やかな減少基調で推移しており、平成 22 年には 42,089 人となっている。

愛川町の人口推移（国勢調査）

（単位：人）



2. 図書館とその利用状況

(1) 図書館の状況

- 町内には、図書館のほか、半原公民館図書室、中津公民館図書室があるが、いずれもが公民館図書室の位置づけであることなどから、十分なスペースが確保されておらず、図書館機能の充実が望まれている。
- 図書館のホームページからは、イベント案内や新着資料の情報などを入手することができるほか、インターネットを通じての蔵書検索や予約等を行うことができる。
- また、公共図書館の広域連携により、『県央地区』（厚木市、伊勢原市、秦野市、大和市、綾瀬市、相模原市、海老名市、座間市、愛川町、清川村の8市1町1村）での相互利用が可能となっている。



名称	延床面積	開館時間	休館日	備考
①図書館	450 m ²	9:30～18:00	火曜日、館内整理日（月1回）、特別整理期間（年1回）、年末年始	学習室、閲覧コーナー
②半原公民館図書室	38 m ²	9:00～22:00	火曜日、年末年始	
③中津公民館図書室	48 m ²	9:00～22:00	毎月最終火曜日、年末年始	

(2) 利用等の状況

図書館、半原公民館図書室、中津公民館図書室の利用等の状況は次のとおりである。

① 蔵書状況

○平成 25 年度末の蔵書総数は 73,777 冊で、このうち、一般書が 48,218 冊 (65.4%)、児童書が 25,559 冊 (34.6%) となっている。

	H24年度末	H25年度 受入冊数	H25年度 除籍冊数	H25年度末	構成比率
一般書	49,300冊	1,929冊	3,011冊	48,218冊	65.4%
児童書	25,510冊	761冊	712冊	25,559冊	34.6%
合 計	74,810冊	2,690冊	3,723冊	73,777冊	100.0%

② 貸出冊数

○平成 25 年度の年間貸出冊数は 72,392 冊で、このうち、一般書が 43,083 冊で 59.5% を占め、次いで児童書が 25,081 冊 (34.7%)、雑誌 4,228 冊 (5.8%) となっている。

	一般書	児童書	雑誌	合 計
H24年度	45,414冊	25,438冊	4,060冊	74,912冊
H25年度	43,083冊	25,081冊	4,228冊	72,392冊
H25年度 構成比	59.5%	34.7%	5.8%	100.0%

③ 貸出者数 (延べ人数)

○平成 25 年度の年間貸出者数の延べ人数は 27,250 人となっている。

	人 数
H24年度	28,840人
H25年度	27,250人

④ 視聴覚資料 (CD) 貸出件数

○平成 25 年度の視聴覚資料 (CD) の貸出件数は 2,512 件となっている。

	件 数
H24年度	3,031件
H25年度	2,512件

⑤ リクエスト（希望図書）件数

○平成 25 年度のリクエスト件数は 4,546 件となっている。

	件 数
H24年度	4,377件
H25年度	4,546件

⑥ 相互貸借（近隣自治体との貸借）の件数

○平成 25 年度の相互貸借の件数は 1,408 件で、このうち、貸出が 747 件、借入が 661 件となっている。

	相互貸借		合 計
	貸出	借入	
H24年度	746件	689件	1,435件
H25年度	747件	661件	1,408件

⑦ コピーサービス件数

○平成 25 年度のコピーサービスの件数は、276 件（1,813 枚）となっている。

	件 数	枚 数
H24年度	316件	1,952枚
H25年度	276件	1,813枚

⑧ レファレンスサービス件数

○平成 25 年度のレファレンスサービスの件数は 323 件で、このうち、窓口での相談が 315 件で 97.5%を占めている。

	窓口	電話	文書	合計
H24年度	294件	18件	0件	312件
H25年度	315件	8件	0件	323件
H25年度 構成比	97.5%	2.5%	0%	100.0%

3. 図書館や読書に関する住民の実態・ニーズ等

(1) 図書館に関する住民アンケート調査から

○町では、「愛川町図書館構想」の検討・策定に先立ち、図書館に関する住民ニーズについて把握し、図書館構想に向けての課題と方向性を明らかにするため、平成25年8月下旬から9月上旬に15歳以上の住民を対象とするアンケート調査を実施した。

配布数	回収数	回収率
1,500 票	417 票	27.8%

○ここでは、このアンケート調査の主な集計結果を掲載する。

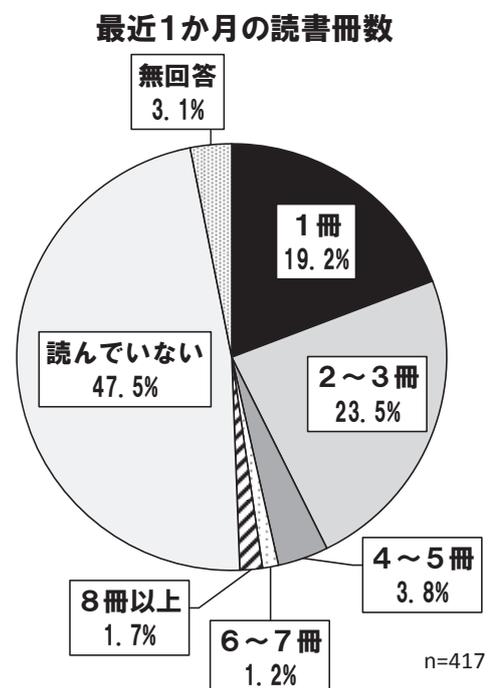
[アンケート調査結果の主なポイント]

- 図書館の利用経験がある人が過半数を超えているものの、利用経験がない人の割合も多い。
- 利用経験がある人のうち、年に数回程度利用する人が過半数を超えている。
- 満足度は、6割程度となっている。
- 不満の理由としては、蔵書の少なさやフロアが手狭なことなどが挙げられている。
- これからの図書館のイメージは、「ちょっとした時間をゆったりと過ごせる」が最も多く、次いで「本に興味がある人もない人も行ってみたい」が多くなっている。
- 望むサービスは、「カフェスペース」が最も多く、次いで「ゆったりと時間を過ごせるスペース」が多くなっている。

① 読書の状況

[最近1か月の読書冊数]

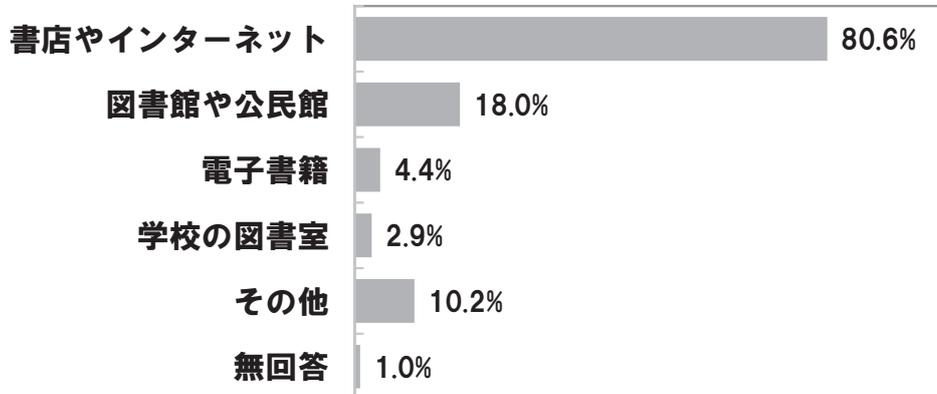
- 最近1か月に読んだ本の数は、「読んでいない」が47.5%で半数近くを占めている。
- 読んでいる人の中では、「2～3冊」が23.5%、「1冊」が19.2%の順となっている。



[本の入手方法]

- 本の入手方法は、「書店やインターネット」で購入が80.6%で最も多い。
- 「図書館や公民館」や「学校の図書室」の本はそれぞれ18.0%、2.9%である。

本の入手方法



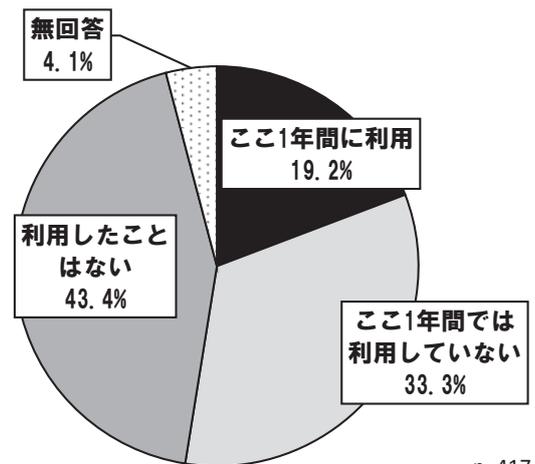
n=206

② 図書館の利用状況

[図書館の利用経験]

- 文化会館2階の図書館は、「利用したことはない」が43.4%で最も多く、次いで「ここ1年間では利用していない」33.3%、「ここ1年間に利用」19.2%の順となっている。

図書館の利用経験

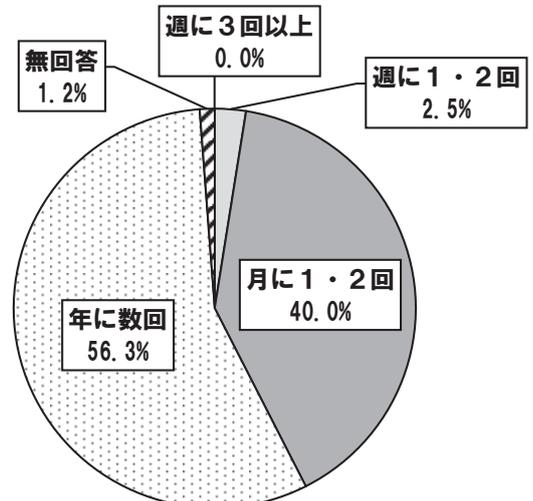


n=417

[図書館の利用頻度]

- ここ1年間に利用したことがある人の利用頻度は、「年に数回」が56.3%、「月に1・2回」40.0%、「週に1・2回」2.5%の順となっている。

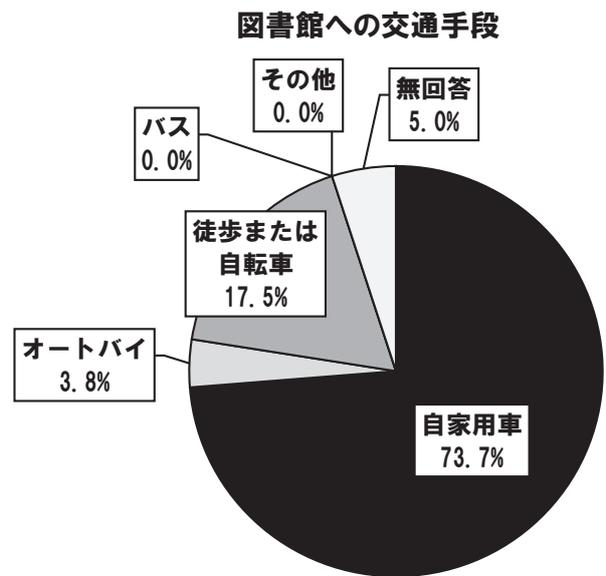
図書館の利用頻度



n=80

[図書館への交通手段]

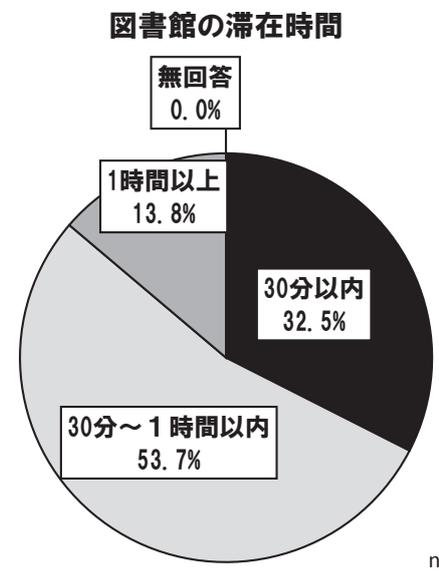
○図書館への交通手段は、「自家用車」が73.7%で最も多く、次いで「徒歩または自転車」17.5%、「オートバイ」3.8%の順となっている。



n=80

[図書館の滞在時間]

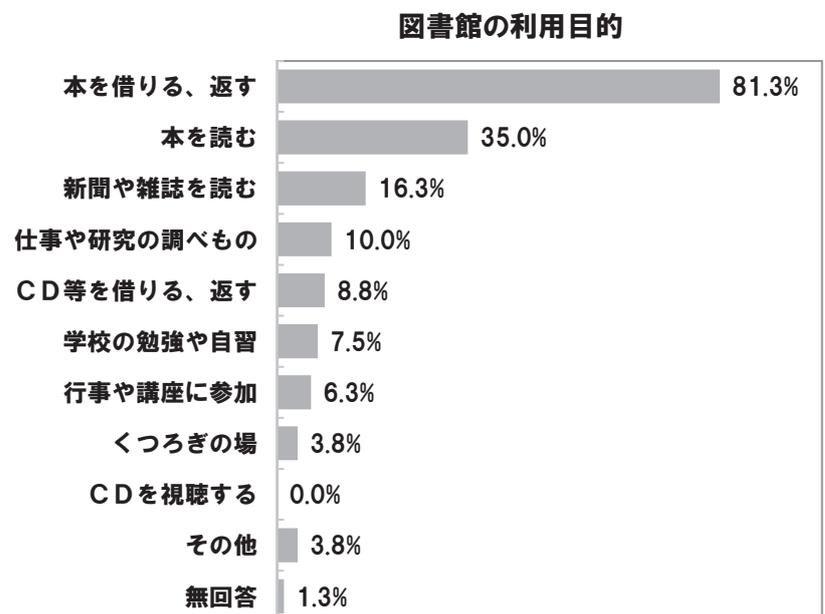
○図書館の1回あたりの滞在時間は、「30分～1時間以内」が53.7%で最も多く、次いで「30分以内」32.5%、「1時間以上」13.8%の順となっている。



n=80

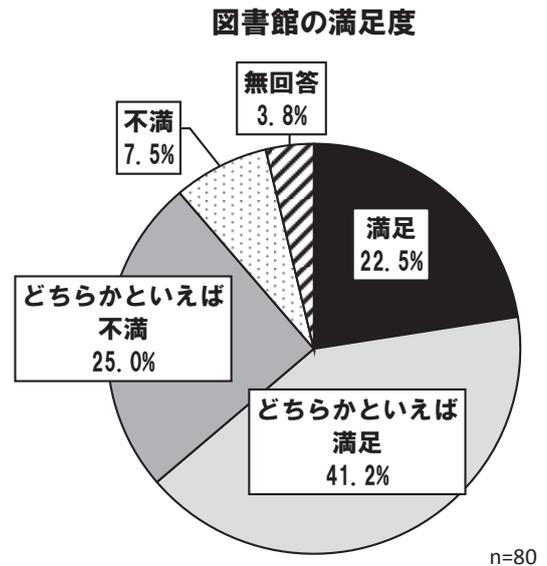
[図書館の利用目的]

○図書館の主な利用目的は、「本を借りる、返す」が81.3%で最も多く、次いで「本を読む」35.0%、「新聞や雑誌を読む」16.3%の順となっている。



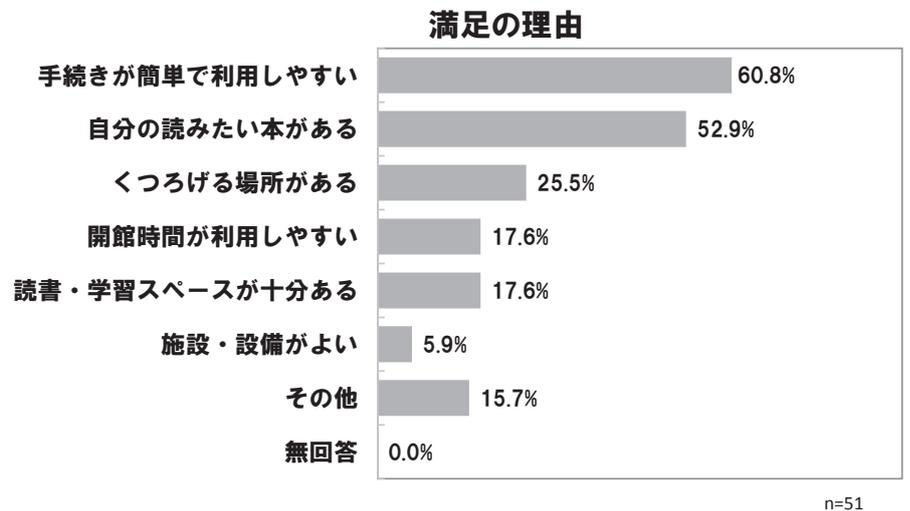
③ 図書館の満足度

○「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた満足度は63.7%で、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた不満度は32.5%で満足度の方が高くなっている。



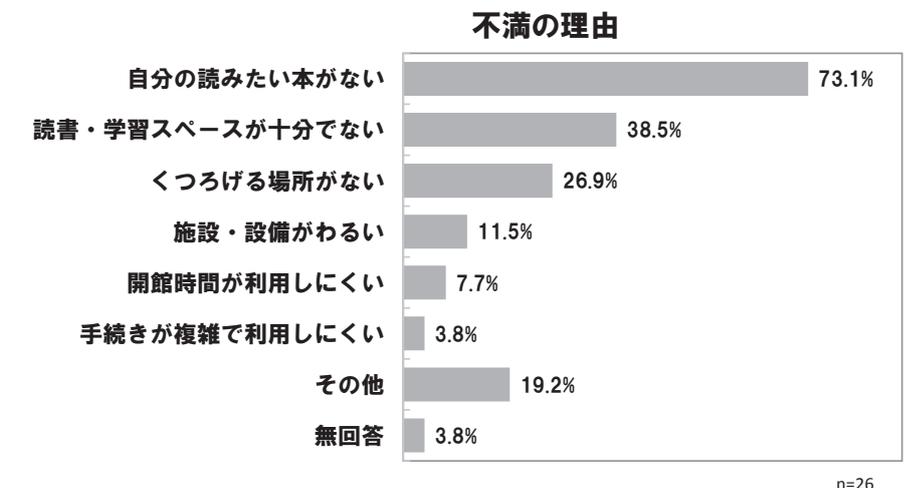
[満足 の理由]

○満足の原因としては、「手続きが簡単で利用しやすい」が60.8%で最も多く、次いで「自分の読みたい本がある」52.9%、「くつろげる場所がある」25.5%の順となっている。



[不満 の理由]

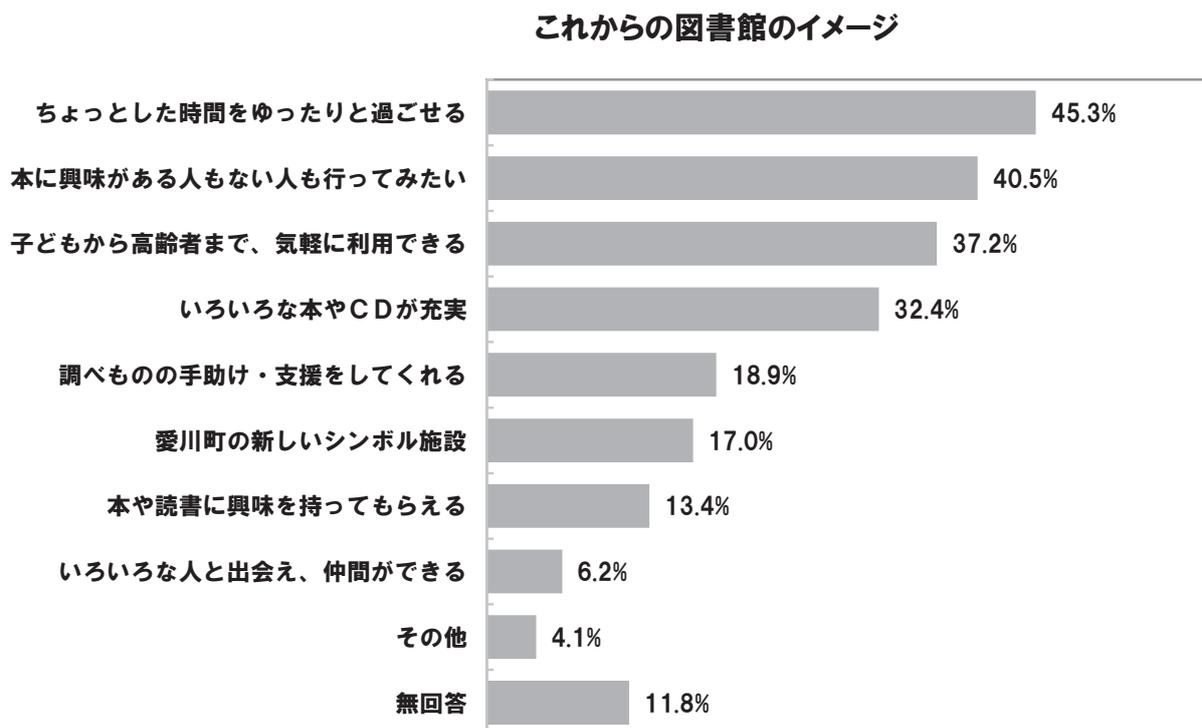
○不満の原因は、「自分の読みたい本がない」が73.1%で最も多く、次いで「読書・学習スペースが十分でない」38.5%、「くつろげる場所がない」26.9%の順となっている。



④ 図書館に対する要望

[これからの図書館のイメージ]

○これからの図書館のイメージとして、「ちょっとした時間をゆったりと過ごせるような図書館」が45.3%で最も多く、次いで「本に興味がある人もない人も、誰もが行ってみたいくなるような図書館」40.5%、「子どもから高齢者まで、気軽に利用できるような図書館」37.2%の順となっている。

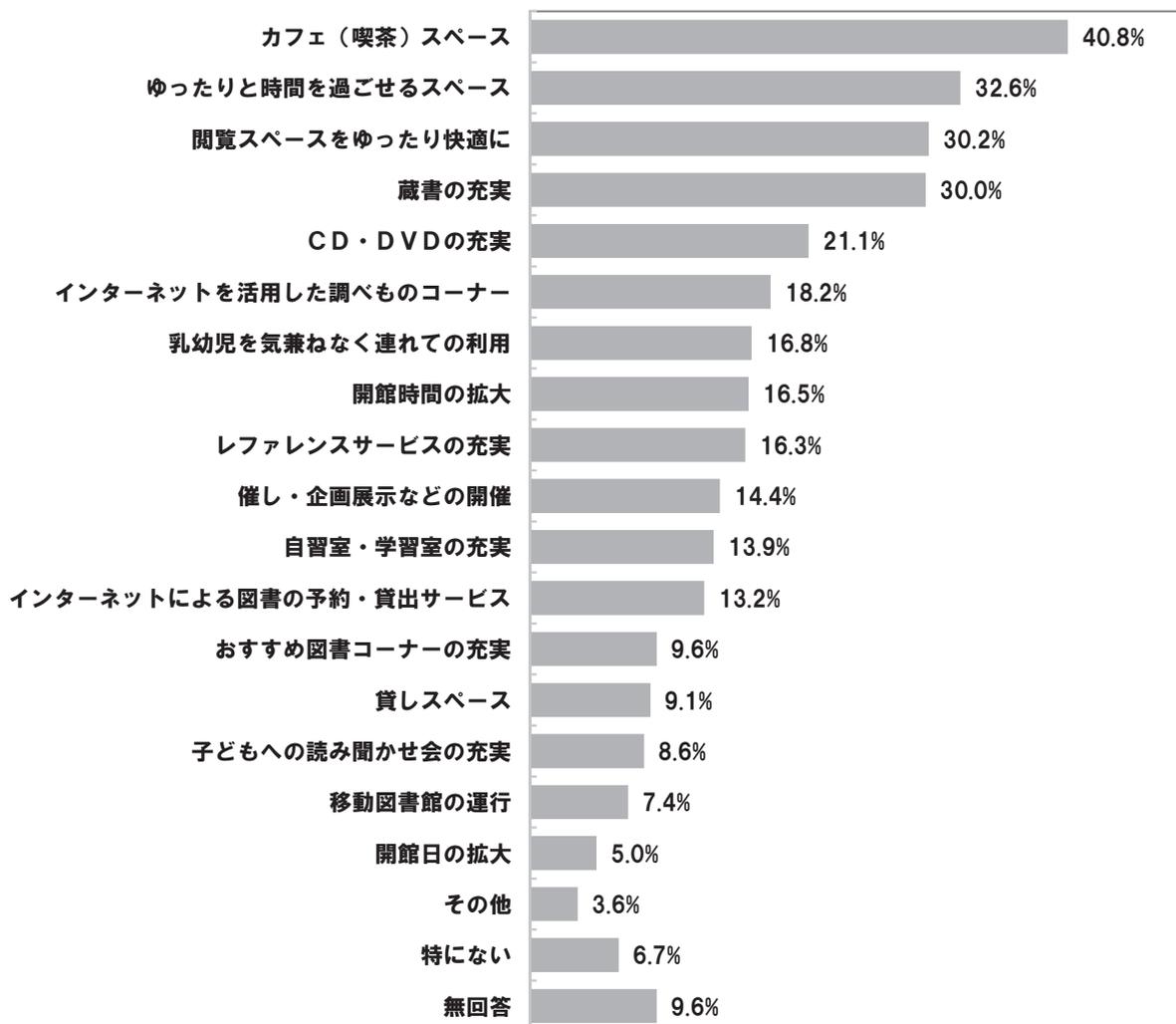


n=417

[図書館に望むサービス]

○図書館に望むサービスは、「カフェ（喫茶）スペース」が40.8%で最も多く、次いで「ゆったりと時間を過ごせるスペース」32.6%、「閲覧スペースをゆったり快適に」30.2%の順となっており、蔵書の充実やレファレンスといった本来の図書サービスの充実よりも、付加機能を求める意見が多くみられる。

図書館に望むサービス



n=417

⑤今後の図書館の望ましい姿や構想について（自由記述）

※一部を抜粋

年齢	性別	記述内容
15～19 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・照明を明るく。 ・新書、近現代文学、啓蒙書、伝記、専門書を多くしてほしい。 ・学習室以外の場所にも椅子を置いてほしい。
15～19 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・厚木のヤンコミでは和室が学生などにとって非常に使いやすいものになっているが、愛川の図書館ではそのような施設が自由に使えない為気軽に休憩できるスペースを設ける事で皆が通いやすくなると思います。
15～19 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・何かの施設の一部というのではなく、（現在のイメージは図書室！）独立した、ゆったりとした図書館がいい。対象年齢別のフロアにして子供たちは子供たちでワイワイしながらも楽しめるようなスペースがあると良いと思う。お母さん同士が情報交換しながら本を選べたり、小さい子に読み聞かせをしてあげられるようなスペースもあったら良いと思う。ベランダガーデンなんかもあったりして。 ・バリアフリーは必須。
20～29 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に利用できて、本を読む空間が快適。
20～29 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の図書館は建物のデザイン、内装、書籍の種類、様々な面において魅力ある図書館とは言えないと思う。特に学生の時に感じたのは自習室がとても勉強しづらい空間になってしまっているということ。自習室は個別のスペースで勉強ができる場所とオープンスペースで勉強ができる場所を分けて作るべきだと思う。自習室、書籍の充実はもちろん、住民の興味をそそるようなインパクトある斬新なデザインの図書館があったら嬉しいです。
20～29 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の場合、平日は基本的に帰りが遅い方が多く、行きたくても閉館していることが多い。そのため、閉館時間を遅くすることで、社会人層を取り込むことが可能となるのではないかと？ ・カフェ施設を導入することで若者にも受け入れやすくなると思う。
20～29 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館には調べ物や勉強をしにいくことが多かったので、レファレンスサービスや自習室を充実していただくと学生たち等には嬉しいと思う。現在も行くとしたら上記の理由が多いと思うが、本が増えて読みたい本があれば休日にも利用すると思う。
20～29 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が利用できるような図書館が良いと思います。私は田代に住んでいるので「学校帰りに図書館による」といったことは難しいです。しかし、幼いころはよく利用させて頂きましたし、自分の子供が生まれたときには図書館を利用したいと思います。

年齢	性別	記述内容
20～29 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様がいらっしゃる方は行きたくても中々行けないのが現実なので、図書館に子供が自由に遊べるスペースを作り、また、親子で楽しく本を読めるような工夫があるといいと思う。図書館は静かに本を読むという決まりがあるので難しいとは思いますが、少しの配慮が図書館に人を増やすと思う(静かに読むスペースとおしゃべり有のスペースを分けるなど)。
20～29 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・今の図書館は建物の2階にあって、少し不便だなあと感じることもあります。小さい子どもと本を抱えながら階段を上るのは大変な時もあります。エレベーターもありますがエコを考えると歩いて行けた方がいいかなあと。出来れば1階にあった方が利用しやすい。 ・イスももう少しあった方がいいと感じる時も。プラス机があればさらに便利になると思います(学習室とは別で)。 ・今の図書館のイメージは文化会館の図書室という小さいイメージがあります。愛川町らしいアットホームなところは気に入っていますが、独立?という形でも悪くないと思います。もっとわかりやすい目印だったり看板などあれば利用者増大にもつながるのではないかなあ...と思います。
20～29 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり図書館に一番求めるものは蔵書の充実です。建物外観がよくても蔵書が少なくでは意味ないように思います(特に個人ではなかなか買えない専門書など充実させてほしいです。画集など)。
30～39 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・愛川町のシンボルとなるような図書館づくり。愛川町の人たちが集まり、大人からお年寄りまで話し合いながら本を読んだりくつろいだりいろんな意見を言えるような施設。
30～39 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店などと隣接したようなイメージ。昼食ついでに図書館も利用するイメージ。
30～39 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで済んでしまう様な内容だとお客さまも来ないと思うので係員の方がお客様の調べ物などに手助けをする。解らない事が無い様にできればなおいいと思います。
30～39 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが入りやすく外の光が取り入れられるよう明るい室内にしてほしい。
30～39 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・手前勝手な意見ですが、児童書や純文字、ハードカバーの小説だけでなく、特に中高生を中心にかなり上の世代まで人気があるライトノベルを揃えれば、若い人たちをはじめとした多くの人に図書館へと足を向けてもらえるのではないかと思います。仕事上、そういうものには接する機会が多い一人として述べさせていただきました。 ・CDやDVDの充実は、正直優先順位を低くしていいんじゃないかと。やっぱり図書館は本を揃えてなんぼだと思っているので。

年齢	性別	記述内容
30～39 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳のこどもがいるため近くの春日台児童会館の図書館を利用しています。なんでも近くで手間がかからないのが1番いいのでは？と思います。
30～39 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草や花などの緑が多く開放的な雰囲気がある図書館
30～39 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子連れでも楽しく利用できる本好きの子供が増えるような図書館を目的とする環境づくり(大人の利用者に迷惑にならないようなスペース、部屋の配置など工夫する)。
30～39 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館は本を読む為に静かですが、子供に見やすい様に少し声を出してもいい様な部屋？スペースが欲しい。今は区切りがないので幼い子が声を出すと母としてきまわず、絵本選びをいそいでしまうので…。
30～39 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本を読む、借りる、また調べものをするといったときに利用する図書館であるのでその場でも長く滞在でき、そこそこの個人スペースを保てるような空間づくりをして頂きたい。 ・ 現状愛川町の図書館(というか役場周辺)にはなかなか飲食をできるスペースもないことから、ちょっとした喫茶店のような併設施設の充実を図っていただければ、大学生などの調べものなどのときの長期滞在も可能になると思われる。
40～49 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCからの検索がうまくできないから改善してほしい。 ・ 1階は民間のカフェをテナント入れて、天気の良い日はオープンテラスで本を読めるようにする。 ・ ソーラーは実用的なもので、100～500kW/h クラスは入れて追尾式にする。停電、災害時は必ず電力が確保できる事。災害時は町役場に借館し、行政の機能を維持する。町民の携帯も充電する。 ・ 愛川町の企業が打ち合わせの場所としても使えるようにして、有効に使う(カフェと連携する)。図書館としての機能だけでなく、町がこの施設を中心として活性化するような有意義なものとして本当に町民の役に立つものをつくる。 ・ 町民の移動手段は車が多いので駐車場も多く確保する。駐車場の上はソーラーパネルで屋根を造る。夏の車内の温度が下がる。オープンテラスは車いす車両が直接アクセスできるように。
40～49 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 返却方法を時間的、場所的に増やしてほしい。近所のコンビニで返却できる！くらいの気軽さがあると借りやすくなる。
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある地域の図書館では絵本のスペースが充実しており、子供たちがどこに座っても本に影が出来ないよう照明を工夫しているとTVで観ました。内装もワクワクするものだともっと楽しくなると思います。図書館が充実することは町の豊かさを表すと思うので、もっと蔵書(新刊)が増えるといいと思います(ラビンプラザの図書室も)。子供たちは自分たちで町の図書館に行くのは難しいので…。

年齢	性別	記述内容
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> • 車を持っていなくても歩いて行ける場所の方がいいです。乳幼児連れでも気軽に労力も少なく行けるようになったら助かります。私が子供のころ(相模原市ですが)トラックで移動図書館が来てくれて毎週楽しみにしていました。公園単位でも良いのであったら是非利用したいと思います。
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> • スペースを広くとってほしい。DVD鑑賞用ソファ、ヘッドフォンがほしい。
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館だけでなく厚木市子ども科学館のように親子で楽しめる展示とかあると夏休みとかたくさん利用しようかなと思います。
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館の最上階などに軽食などできるラウンジや愛川町の歴史などを知ることができる(あいかわ公園にある郷土資料館のように)スペースを作って、本を借りること以外でも利用できるようになると人が集まってくると思う。 • 成人した娘が小さかった頃、近くの公園に移動図書館の車が来ていた。利用者が少なくてなくなってしまったのかもしれないが、子供が小さく、今みたいに町のバスがなかったときはとても助かったので、またこのようなサービスがあると利用したい。
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> • 橋本の図書館をのぞいたことがあります。本屋さんかと思うくらいの充実とカフェテラスのような感じでした。愛川の図書館は少し古い感じ。本も古いものしかないかな～とってしまいます。カフェテラスなんてあったら見た目からしても入りやすくなると思います。希望します。
40～49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> • 老人や子供たちが一緒に楽しく利用できたり、交流が深まるような地域の人たちが楽しめるスペースがあると良いです。この辺は古くから住んでいる老人も多く、新しく引っ越してきている新世帯も増えているので。
50～59 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> • 愛川の知的拠点及びコミュニティの接点となるようなシンボリックな図書館構想を計画してほしい。また、他機関との広域的ネットワーク化された図書館としてほしい。
50～59 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> • 館内にドッグカフェなどを設けた、ペットのいる家庭でも気軽に利用できる図書館。
50～59 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> • 現在は就業中なので図書館を利用する機会がありませんがリタイアしたら図書館でゆっくり本を読みたいと思っています。ですから一日ゆっくりと過ごせるスペースを作ってほしいと思います。
50～59 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> • わが子は何百回と利用させていただいて感謝しております。子供の本のコーナーと一般の本、又は学習室が別々の階にあって、子供にとっては楽しい場所、一般にとってはくつろいだり居心地良く、勉強しやすい場所であったら良いなと思います。

年齢	性別	記述内容
50～59 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・今より広い土地にバリアフリーの明るい建物がほしい（ソーラーパネルあり）。 ・喫茶スペースは本を読みながら利用できるもの。 ・読み聞かせやちょっとした講演、昔話や影絵の上映など気軽に入れて、見ることができるスペース。 ・静かに勉強したい人用のスペース。 ・図書館までの交通手段。循環バス？（とりとめなくすみません）
50～59 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ物をしている人に関連書物を調べてくれるような親切な司書さんがいるような図書館にしてほしいです。
50～59 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり多様に楽しめると思いいます。ついでに本を借りる、返すということが出来る施設であれば利用し易いと思う。実際、最近利用していないので現状はわかりませんが、そこに行けば色々楽しめる、半日はゆっくりのんびり過ごせるなどできるのなら、是非利用したいです。情報発信もお願いします。楽しみにしています。
60～69 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読む、調べものをする等以外にも一人で行っても楽しめる、あるいはゆっくりとした時を過ごせる様な空間を設けていただく（喫茶、軽食等）。 ・人と人との出会いが出来るスペースの提供。図書館は本を読む・調べるだけではないと思うが。 ・子供（幼児）を遊ばせることができるスペースの提供。
60～69 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・囲碁、将棋の本も増やしてほしい。 ・愛川町の歴史に関する資料を充実してもらいたい。
60～69 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルを活用した温泉施設・プールを併設する等憩いのオアシスにする。 ・蔵書の入れ替えは児童館などの町の施設の旧書との交換を積極的に行い再利用を促進する。
60～69 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェなどには人件費がかかるので税金の無駄だと思う。それよりは、書籍などを増やした方がいいと思う。
60～69 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これから作る公共施設は全て電力を自前でまかなえるよう、ソーラーパネルの施設を義務づけるなど。災害時のライフライン確保にも活用できる。
60～69 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・愛川の自然が感じられ安らぐ様な木目調の内装にしてほしい。
60～69 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の不自由な方々に貸出などのサービスなども充実してほしい。
60～69 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩がてら本を借りに行き軽いカフェがあると友達と気軽に行けると思います。

年齢	性別	記述内容
60～69 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ自然光を取り入れて、窓を大きく明るくし、1階を図書館とし、子供から老人までが集える楽しい場所提供とカフェ、軽食をそろえて病院へ行く人や役場に行った人などが気軽にお昼やおやつをいただける場所を一緒に作ってほしい。 ・親が図書館でゆっくり過ごせる様に子供にもキッズコーナーや優しい絵本やお手玉、ちょっとした手遊びなどが出来る所があると子供も安心して親が来るのを待っていただけると思う。 ・今の文化会館と一緒に芸事などの発表会で図書館に気兼ねしなければならぬのでお互いに迷惑となっている部分があるので文化会館からは離してほしい。愛川町の人々は人間的温かみのある人でいてほしいので、自然(景色やまわりの空気)が和やかなように、夏は涼しく冬は暖かくなるように樹木なども配慮してほしい。
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・学習室の椅子が詰め過ぎています。机も狭く、資料など広げられない。今少し改善希望します。 ・新刊の図書等その時々の様子が分かるように掲示があるといいと思います。
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・休館日をなくしてほしい。
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館として独立した建物がほしい。しかも、町の役場周辺に位置した図書館としたい。館内で読む事のできる十分なスペースの確保を望みます。
70 歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に利用できるカフェをぜひ実現してください！
70 歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの字が大きい本のコーナーがほしいです。個人の書籍を効果的な活用方法。自宅への配達(高齢者向け)貸本。
70 歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の図書館の望ましい姿は？ネットを開けばいろんな情報が瞬時に得られる電子辞書にはあらゆる辞書が内蔵されているし、スマホ電子書籍と図書館に行かずとも家で用事が済んでしまう。これからはもっと進化していこうから今、満足する図書館でいいのだろうか？10年後20年後はどうだろうか？図書館は今までのような価値観ではなくなるような気がする。 ・高齢化が進む中、利用し易く魅力ある図書館ができて、足腰弱って行けなくなった時、出張図書車のような車が巡回してくれたらいいと思う。地区の集会所、お寺、グループホーム、自宅を開放してくれるところなどでミニ映写会、お話し会、民話の語り、朗読などの本の貸し出しだけでなく、ふれあい企画なども取り入れてくださればうれしい！

(2) 図書館に関する小中学生アンケート調査から

- 町では、小中学生を対象とするアンケート調査についても平成25年9月に実施した。
- 調査は、学校を通じて実施し、小学4年生 192人、中学2年生 108人からの回答を得た。

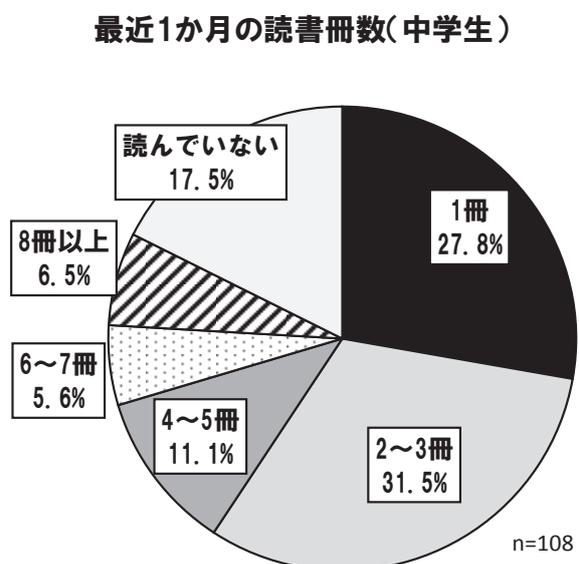
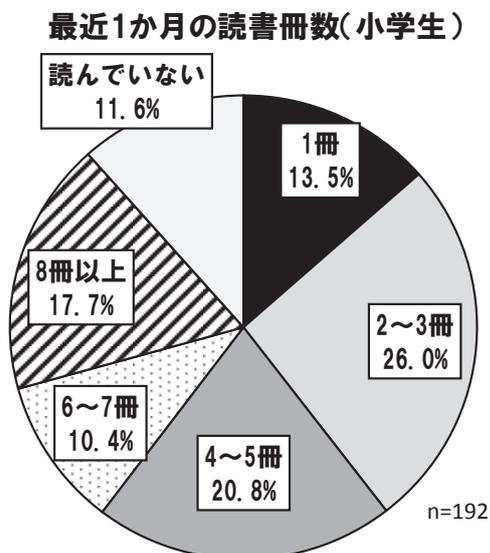
[アンケート調査結果の主なポイント]

- 図書館の利用経験や利用頻度は、中学生よりも小学生が上回る結果となっている。
- 前述の15歳以上に対するアンケート調査と比較すると、ここ1年間の利用経験は小中学生ともに上回っているが、月に1・2回以上の利用については、小学生は上回っているのに対し中学生は大きく下回っている。
- 小中学生ともに満足度は高い。
- これからの図書館のイメージとして、小学生は、「本に興味がある人もない人も行ってみたい」が最も多く、次いで「子どもから高齢者まで、気軽に利用できる」が多くなっている。中学生は、「いろいろな本やCDが充実」が最も多く、次いで「ちょっとした時間をゆったり過ごせる」が多くなっている。
- 望むサービスは、小中学生ともに、「カフェスペース」が最も多くなっている。

① 読書の状況

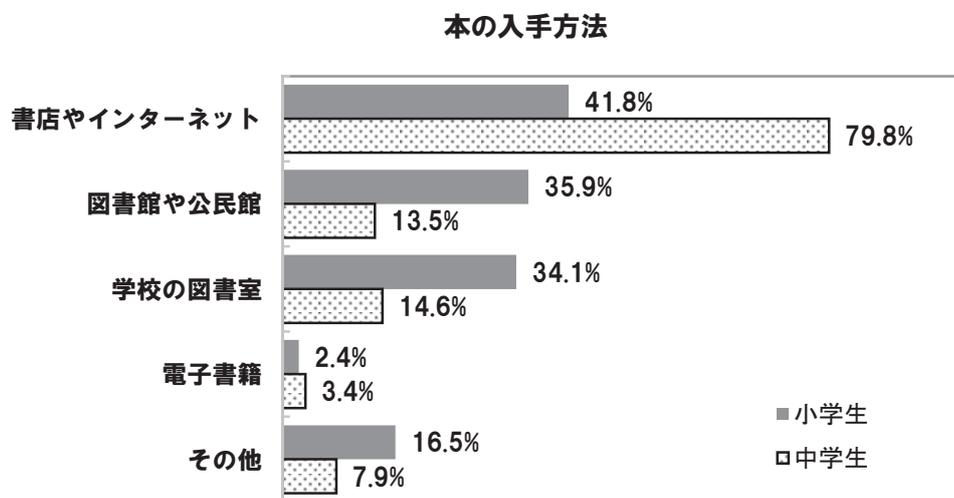
[最近1か月の読書冊数]

- 1か月の読書量は、小中学生ともに「2～3冊」が最も多く、次いで小学生は「4～5冊」、中学生は「1冊」となっており、小学生の方が読書量が多くなっている。



[本の入手方法]

○本の入手方法は、小中学生ともに「書店やインターネット」が最も多く、中学生では約8割を占めている。次いで小学生は「図書館や公民館」、中学生は「学校の図書室」の順となっている。

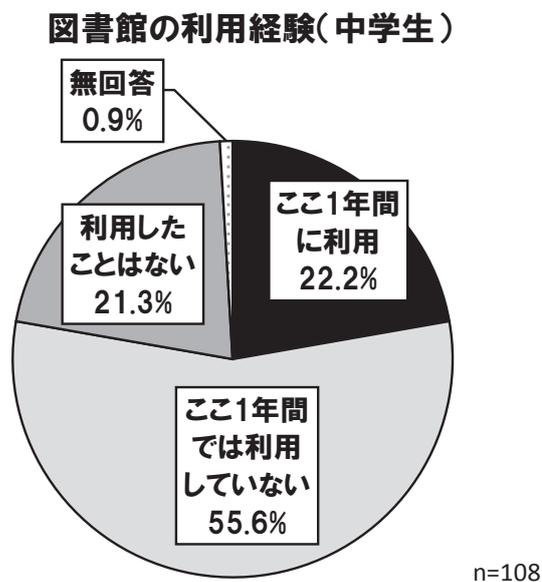
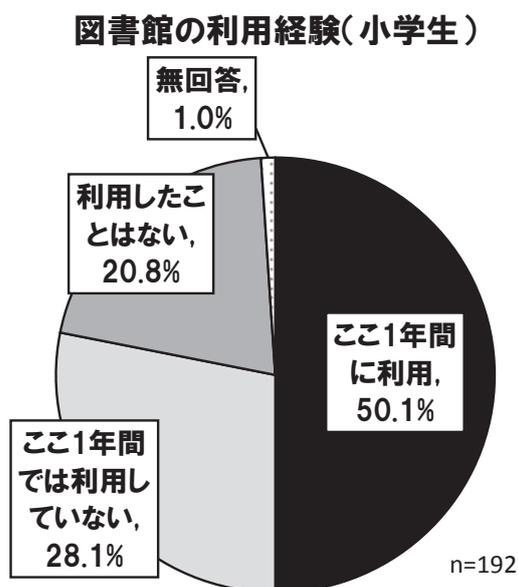


小学生:n=170
中学生:n=89

② 図書館の利用状況

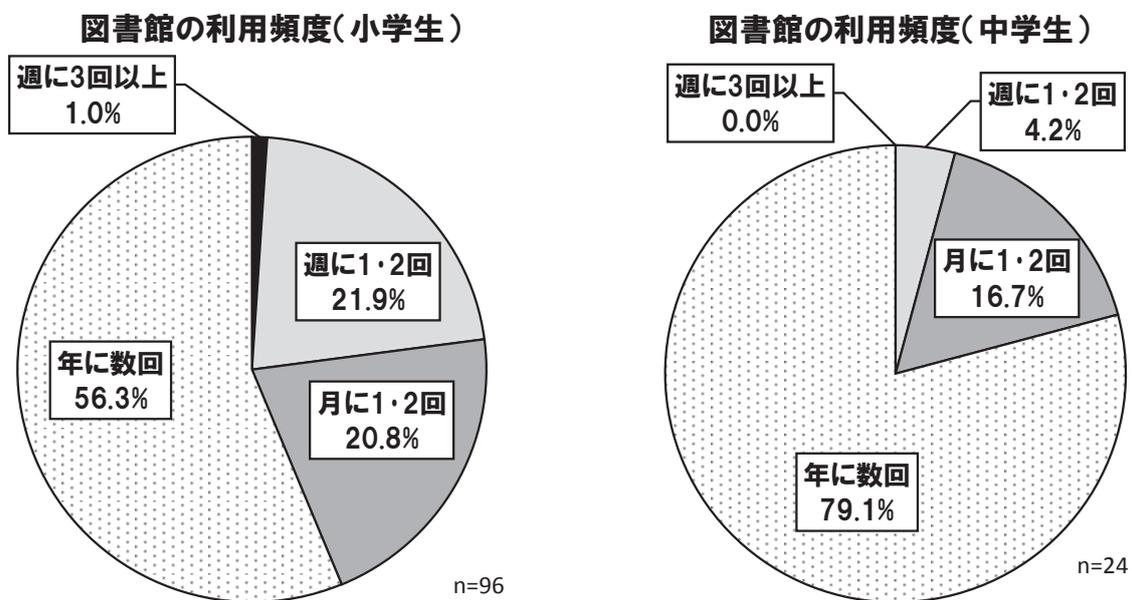
[図書館の利用経験]

- 図書館の利用経験は、小学生は「ここ1年間に利用」が50.1%、中学生は「ここ1年間では利用していない」が55.6%で最も多くなっている。
- 「利用したことはない」は小中学生ともに2割以上を占めている。



[図書館の利用頻度]

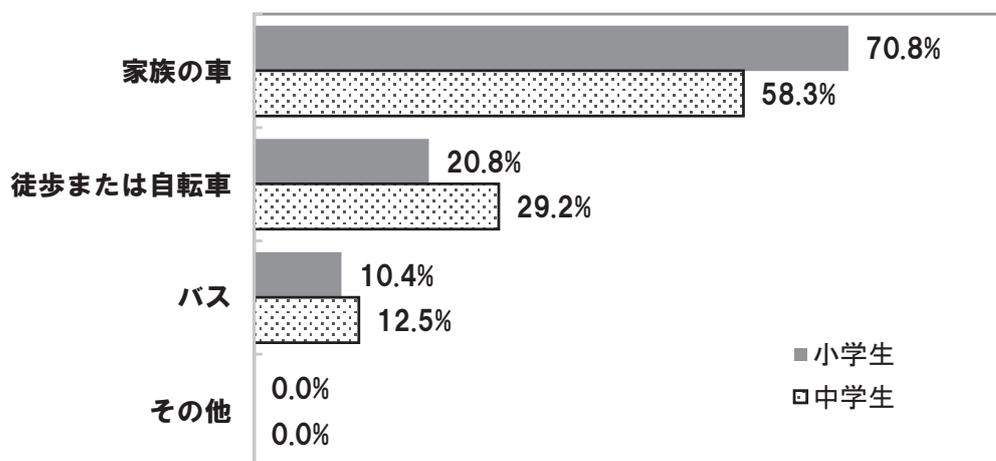
- 図書館の利用頻度は、「年に数回」が小学生は 56.3%、中学生は 79.1%で最も多くなっている。
- 「週に1・2回」と「月に1・2回」とを合わせた月に1回以上の利用者は、小学生は 42.7%、中学生は 20.9%で、小学生は中学生の2倍程度となっている。



[図書館への交通手段]

- 図書館への交通手段は、小中学生ともに「家族の車」が最も多く、次いで「徒歩または自転車」の順となっている。

図書館への交通手段

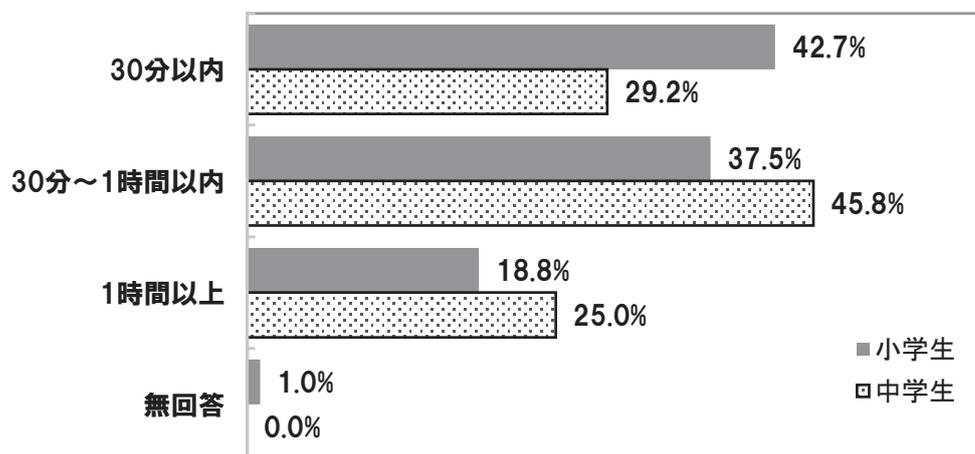


小学生:n=96
中学生:n=24

[図書館の滞在時間]

- 図書館の1回あたりの滞在時間は、小学生は「30分以内」、中学生は「30分～1時間以内」が最も多くなっている。
- 「30分以内」と「30分～1時間以内」を合わせると、小中学生ともに滞在時間は1時間以内が8割程度を占めている。

図書館での滞在時間

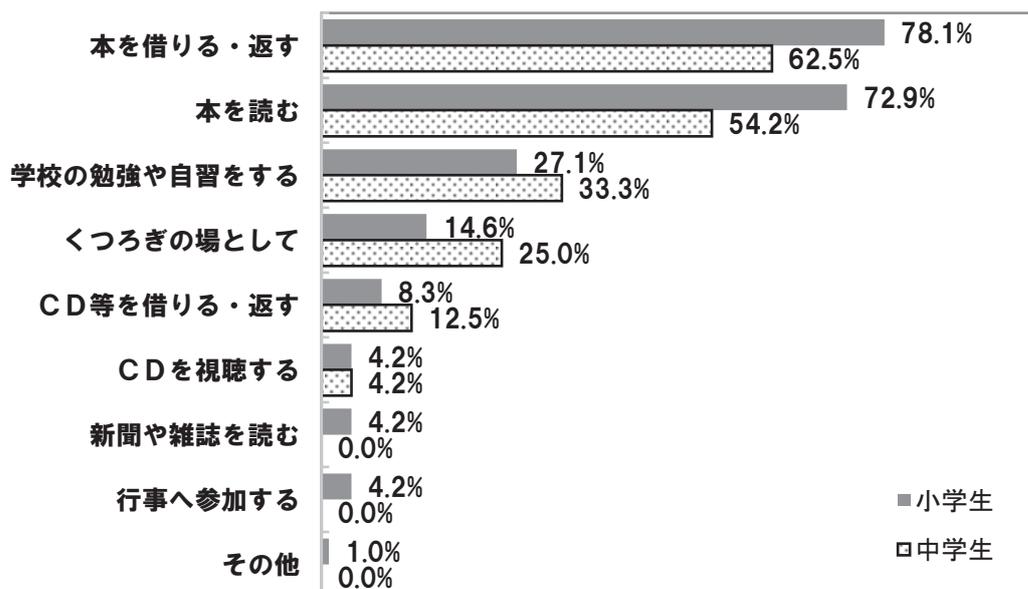


小学生：n=96
中学生：n=24

[図書館の利用目的]

- 図書館の利用目的は、小学生・中学生ともに「本を借りる・返す」が最も多く、次いで「本を読む」の順となっている。

図書館の利用目的

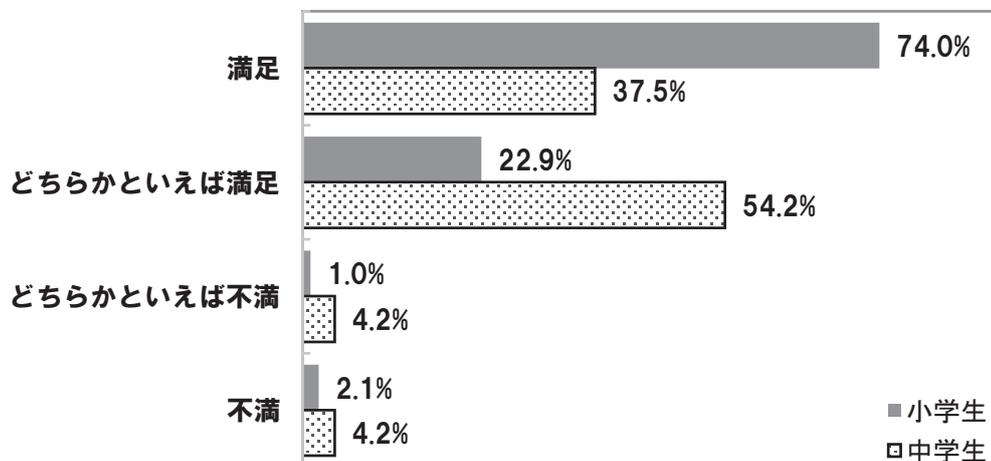


小学生：n=96
中学生：n=24

③ 図書館の満足度

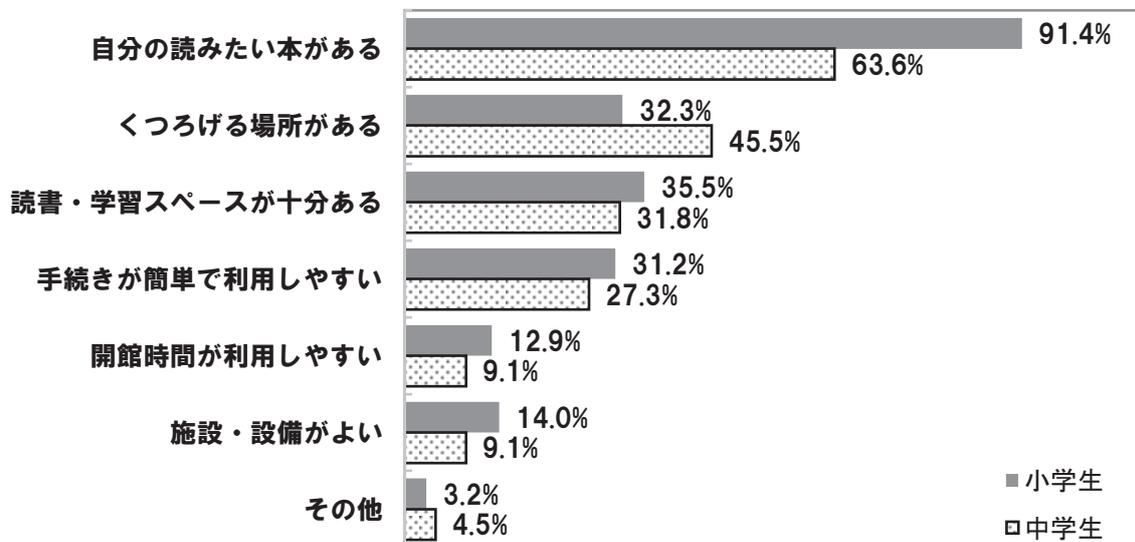
- 図書館の満足度は、小学生では「満足」、中学生では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。
- 「満足」と「どちらかといえば満足」とを合わせた満足度は、小学生は 96.9%、中学生は 91.7%でどちらも 9 割以上となっている。
- 利用して満足と感じた理由は、小中学生ともに「自分の読みたい本がある」が最も多くなっている。
- 次いで、小学生は「読書・学習スペースが十分ある」、中学生は「くつろげる場所がある」の順となっている。
- 利用して不満と感じた理由を、小学生 3 人と中学生 2 人が回答した。そのうち、小学生全員と中学生 1 人が、「自分の読みたい本がない」と回答している。

図書館の満足度



小学生 : n=96
中学生 : n=24

満足の理由

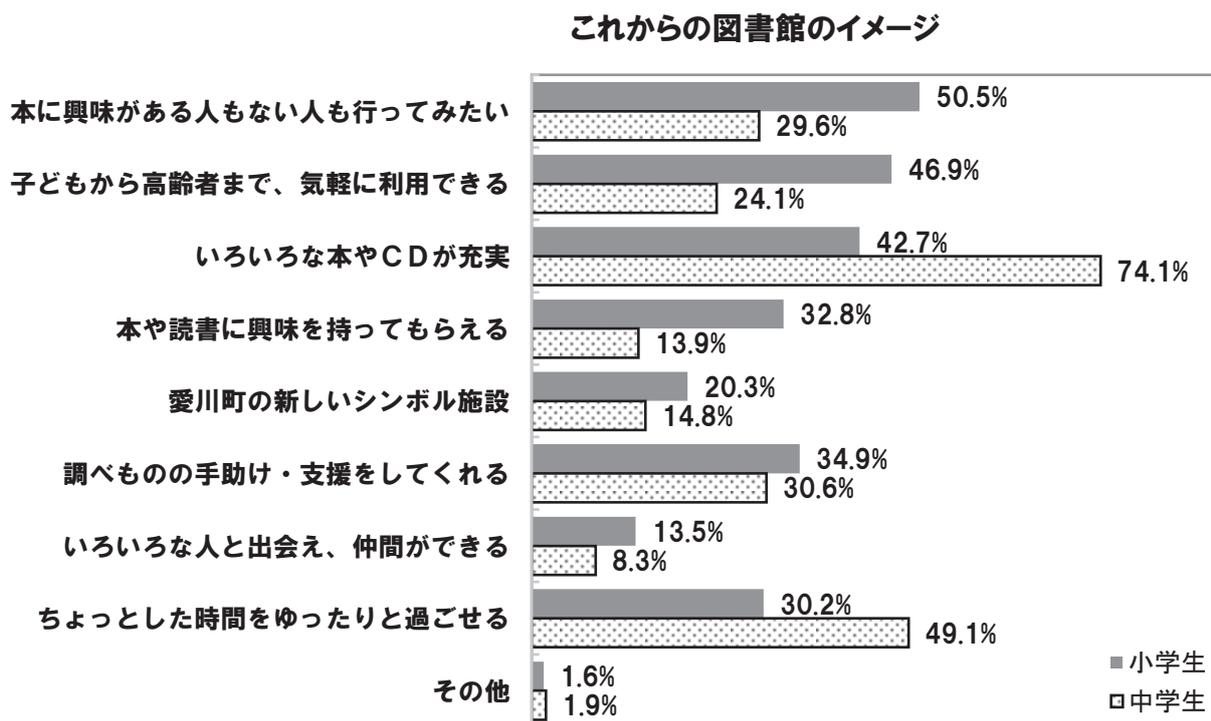


小学生 : n=93
中学生 : n=22

④ 図書館に対する要望

[これからの図書館のイメージ]

- これからの図書館のイメージとしては、小学生は「本に興味がある人もない人も行ってみたい」が50.5%と過半数で最も多く、次いで「子どもから高齢者まで、気軽に利用できる」46.9%、「いろいろな本やCDが充実」42.7%の順となっている。
- 中学生は、「いろいろな本やCDが充実」が74.1%で最も多く、次いで「ちょっとした時間をゆったりと過ごせる」49.1%、「調べものの手助け・支援をしてくれる」30.6%の順となっている。

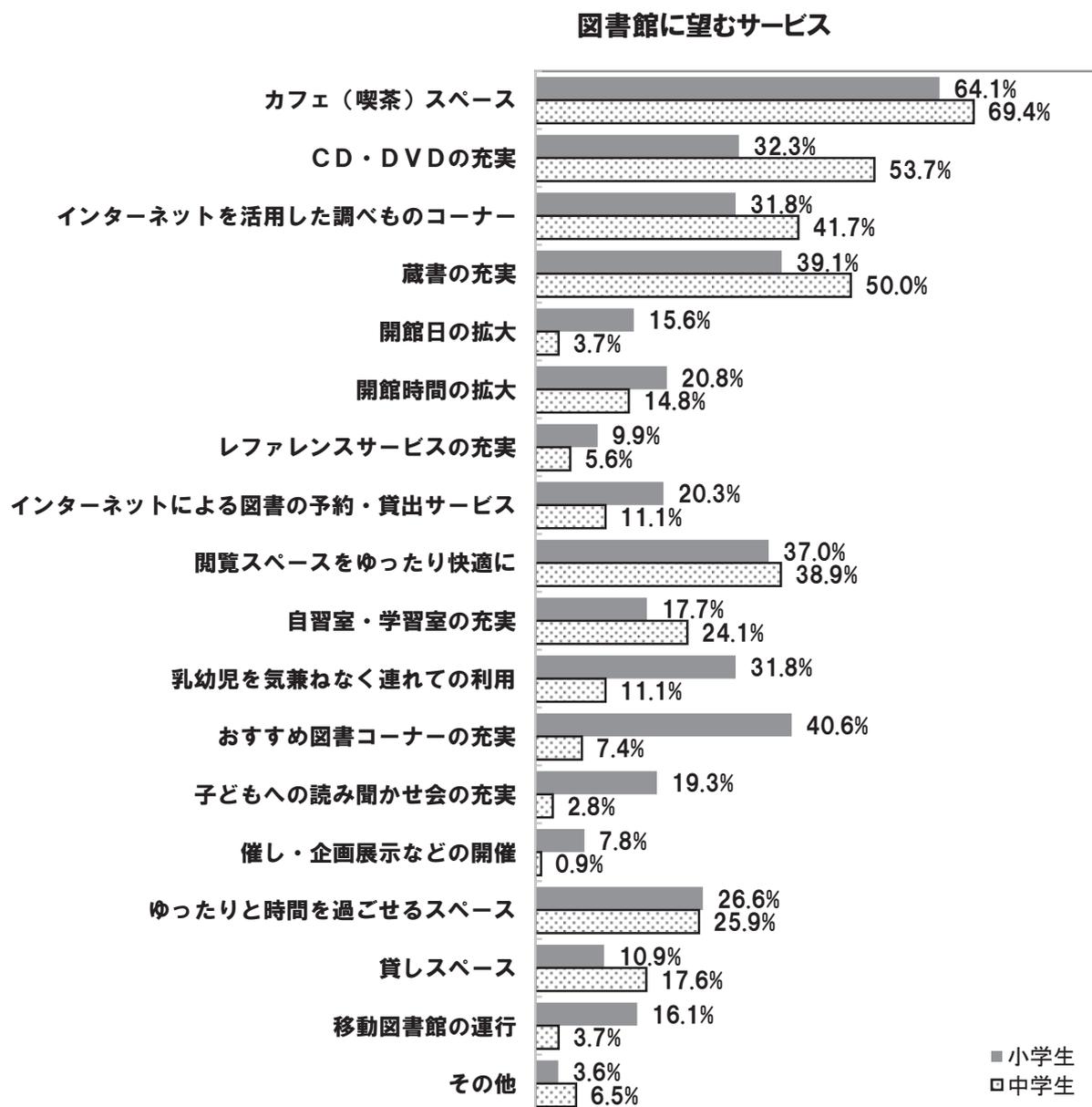


小学生：n=192
 中学生：n=108

[図書館に望むサービス]

○図書館に望むサービスとしては、小中学生ともに「カフェ（喫茶）スペース」が最も多くなっている。

○次いで、小学生は「おすすめ図書コーナーの充実」40.6%、「蔵書の充実」39.1%、中学生は、「CD・DVDの充実」が53.7%、「蔵書の充実」50.0%の順となっている。



小学生：n=192

中学生：n=108

⑤これからの図書館に対する意見（自由記述）

※一部を抜粋

学年	記述内容
小学4年生	・もっと本を増やしてほしい。
小学4年生	・移動図書館で田代小学校に来てほしいです。土日などの休日に来るとうれしいです。
小学4年生	・もっと広くてゆったりできる図書館にしたいです。いろいろな図鑑を置いてほしいです。
小学4年生	・水などの水分をとる所をつくる。自動販売機を置く。
小学4年生	・ソーラーパネルを付けた方がいいと思う。
小学4年生	・小さな子たちでも楽しめるマンガや雑誌を置くといいと思います。赤ちゃんが親を待つ時とかに遊ぶコーナーもあるといいと思います。
小学4年生	・図書館に遊びコーナーがあればいいです。あとカフェの場所があって安く100円にしてあげるといいです。それから勉強の場所があるといいです。
小学4年生	・みんながゆっくりできる所、楽しむことができる所になってほしいです。感動する本やみんなが楽しめる本がいいと思います。
中学2年生	・本はほとんど子ども向けだったりして、ライトノベルとか中学生の読む本がない。
中学2年生	・CDやDVDがあればいいと思います。
中学2年生	・もっといろいろな本を置いてほしいです。貸出し期間を長くしてほしいです。マンガも置いてほしいです。
中学2年生	・学習するスペースがあれば学生が使いやすくなると思います。
中学2年生	・図書館は時間を忘れられる、ゆったりとした場で落ち着けるから非常に助かる。
中学2年生	・愛川町の図書館は愛川町のシンボリック的存在になってほしい。
中学2年生	・本を読むスペースを快適にしたり、利用しやすくしてほしい。
中学2年生	・CDを充実させてほしい。カフェがあればもっと利用すると思う。

(3) 関係団体ヒアリングから

- 町内の読書・読み聞かせ関係団体へのヒアリングを実施した。
- ご協力いただいた関係団体は、次の10団体である。

◇おはなしゆりの木 ◇お話ばれっと ◇おはなしファンタジー
◇おはなしどんぐり ◇ポエム ◇マルベリーの会
◇お話ぼけっと ◇おはなしなごなご ◇春日台ファミリー文庫
◇おはなしたんぽぽ

① 愛川町図書館について

[好きな点]

- ・館員の方が丁寧に対応してくださるので助かっている。
- ・リクエストにすぐ応えてもらえる。
- ・狭いスペースながらも、限られた空間の中で、いかに充実させるかといった工夫が様々見られること。
- ・雰囲気が良いので入館しやすい。
- ・ソロプチミスト寄贈の本は新しくきれいで、いつも利用させていただいている。
- ・インターネットで蔵書検索ができるのはとても便利。
- ・絨毯のコーナーがあるところ。
- ・小さい図書館にしては（他館と比べて）紙芝居が多いかも知れない。
- ・こじんまりとしていて探しやすい。
- ・気軽に利用できる、近くて身近なところ。
- ・くつろぎながら読めるイスが多いこと。
- ・返却ポストがある、どこに返してもよい（半原公民館・中津公民館）。

[改善してほしい点]

- ・蔵書の数が少ないので増やしてほしい、本が古くて傷んでいる。
- ・名作・古典といわれるものが閉架になっていることが多々あり、声もかけにくいので、あきらめてしまう（古かったら新調してほしい）。
- ・ワンフロアに子ども向けと大人向け本があること。
- ・本を探す時、分類がばらばらでわかりにくい（例えば、日本昔話で統一するとか）。
- ・本に直射日光があたり背表紙が変色しているので、配慮をしてほしい。
- ・図書館として狭すぎる、学習室の充実、拡大。
- ・閲覧机、イスの十分な配置。
- ・児童部屋の充実（静かに！ではなく楽しめる空間）。
- ・時間の延長や児童図書の本棚をもっとスペースを広くし、ゆったりとした環境がほしい。
- ・有名な本は各施設にほしい（半原・中津）、借りられる本の数を増やしてほしい。

- ・ソロプチミスト寄贈の本や大型の本も貸してほしい。
- ・リクエスト制度での貸し出し（以前は1か月の貸出期間があったものが、2週間となった）。
- ・（一部）不親切な受付対応があるので、改めていただきたい。
- ・検索システムが新しくなり、子どもやネットを使われない方に少し使いにくい。
- ・駐車場が狭い。

② これからの図書館について

〔蔵書について〕

- ・大幅な増冊を希望、絵本コーナーの充実。
- ・児童図書が書架においてあることが多く、古くなってしまったら新しいものを入れるようにしてほしい。
- ・調べものをする本が少なく、相模原方面へ行ったこともあり、充実を希望。
- ・学校での調べ学習の資料が古いので、新しいものを。
- ・新刊を速やかににおいてほしい。

〔開館時間等について〕

- ・休館日をなくしてほしい、休館日を減らす。
- ・社会人が仕事帰りにも立ち寄れる様に午後9時ごろまで開いているのが理想。
- ・週に1・2度でもいいので、開館時間をのばしてほしい。
- ・海老名市立図書館は指定管理者を導入して365日午前9時～午後9時までの開館をするが、高校生以上、会社員も立ち寄れるようになる。
- ・町外に通勤している人がもっと利用しやすいように時間延長を考えてほしい。
- ・中高生が学習に利用できるような時間帯の調査、延長。

〔機能・サービスについて〕

- ・本を広げて、書き取りができるような場所がほしい。
- ・閲覧室や学習室など、机と椅子を自由に使えるスペースを広く取ってほしい。
- ・本を個人で読める席が少ない。
- ・お話会等できる部屋があると、集中して聞ける（読み聞かせの時、手遊びを入れたり、パネルシアターなどを行いたいが、現在は読み聞かせも他の利用者に遠慮しながら行っている）。
- ・CDが借りられるように。
- ・ネットでつながることを望む。
- ・受付の来所、電話対応でもっと相談にのってもらえるようスタッフを増員。
- ・図書館に来館しただけで携帯を持っていれば自動感知してポイントがたまり、それを使って本やCD購入時に使える。
- ・今月のおすすめの本など1階などに展示する場所があってもよい。
- ・お茶などいただけるスペースがあればゆっくりできる。
- ・バリアフリー。

【その他】

- ・全体的にもっと大きなものにして、係の人や本を増やしてほしい。
- ・明るくて開放的な雰囲気図書館。
- ・配架コーナー外に、カフェルームなどほしい（大人がもっと行きたくなるような工夫）。
- ・小さなお話会ができる、子ども（大人も一緒に）専用のコーナーがほしい（小さなお家のようなエリアで）。
- ・子どもが本を取ることができる棚の高さを調節してほしい（もっと、子どもの目線からの棚を設置してほしい）。
- ・本を通して複合的な広がりがあるといい（例えば子育て支援との連携、部屋を併設させるなど）。
- ・民間のシステムを利用して（TSUTAYA）若い人に親しみやすい、利用しやすいものになるといい。
- ・中津の工業団地も圏央道が開通し、流通関連の工場が増えたので、そこで働く方々にも足を運んでもらえるような工夫をしたり、小・中・高校生も、町中をウロウロするより、長居できる場所を提供できれば、読書への道も導きやすくなり、学力向上への足掛かりになるはず。
- ・電子書籍など利用する人が多くなると、図書館の在り方や本離れの傾向があるのではと心配。

③ 町民に愛される図書館にするために

- ・蔵書数を増やし、探しやすく手に取りやすいディスプレイ。
- ・町民がいろいろな情報を得ることができること。
- ・世の事柄、すべての分野の本がある場所が図書館、ということは誰もが興味のあるものがそこには存在するはずであり、その存在は待っていても見せられない、図書館側から見せていく姿勢が必要（蔵書、配架の工夫、コーヒー飲みながらのカフェ談議とか・・・楽しいイベント etc.）。
- ・読書普及の積極的な姿勢・PR・図書館がどこにあるかとよく耳にする（図書館のPRも重要）。
- ・スタッフの対応が良いことが一番魅力的な図書館になる近道です。
- ・職員研修で他の市町村などの良いところを学んでほしい。
- ・インターネットや検索機が苦手な人のいる事も忘れないでほしい。
- ・気軽に立ち寄れる雰囲気。
- ・遠慮なく長居できる。
- ・自習室を充実させると若者も足を運ぶようになる。

④ これからの図書館へのアイデア・意見

- ・ゆとりのある配置と空間、ちょっとした腰掛があちこちにあると助かる。
- ・図書館は本との出会いの場であるとともに、日常を忘れられる場でもあると思う。
- ・子どもやお年寄りなど、歩いて行かれるところになると利用者も増えるのでは。

- ・子どもと大人を別フロアにする。
- ・適切な照明（絵本コーナーはどこで読んでも影ができないなど）。
- ・雑誌を充実させてほしい。
- ・調べ物ができるコーナーなど充実させてほしい。
- ・図書館とはお堅いところ、静かに勉強する所という敷居の高い概念をまずはとりはらい、どうしたら皆が居心地良く叡智のつまった本たちと出会えるのかを一から考えてほしい。
- ・「青春の証明」に半原・中津溪谷が書かれていたが、図書館にはないので、古い本だが是非読めるようにしてほしい（愛川町をアピールできるような本の紹介も）。
- ・エレベーターを使わずに、ベビーカーや車椅子、年配の方でもバリアフリーで1階平面から設置してほしい。
- ・入口は広く、何がどこにあるか見渡せるようにしてほしい。
- ・ゆっくり、ゆったり学習したり、読んだり、聴ける場所がほしい。
- ・各専門的な本が少なくて困ることがある。
- ・子ども用の蔵書を増やしてほしい。
- ・児童書のスペースが狭くて、見つけづらかったり、ゆっくり探したりできないので広いスペースがあればよい。
- ・子どもたちに絵本の楽しさを知ってもらうためにとブックスタートが始まり5年が過ぎた。その絵本を受け取った子どもたちにもっとたくさんの絵本を手に取り、無心にページを捲る場を提供していただきたい。陽光の入るゆったりした部屋、3段ほどの階段があり、そこに子どもたちが座ったり、机のようにしたり、自由な姿でたくさんの絵本を楽しむ。そんなコーナーがあったら、子どもたちは図書館を身近に感じてくれるのでは・・・。
- ・武雄市図書館：放課後の居場所づくり、ぬいぐるみが選ぶ君の本、海老名の図書館運営など。
- ・大・中・小いろいろな図書館を見学し、愛川町に後世に自信を持って残せる中身を検討してほしい。
- ・予算なども関わってくることなので、どの程度の事が実現可能なのか、提示案のようなものを示していただけるとイメージしやすい。
- ・町の規模から考えて、図書館の事業はわりあいと充実している。
- ・お話の部屋があるような素敵な図書館があればうれしいが、お金がかかることなので、今の図書館が充実して身近なものであればそれで良い。
- ・他市町村との連携を十分に活用して、身近なできるところから取り入れていくよう希望する。
- ・公立図書館に指定管理者を導入し、利用者の事を第一に考える図書館作りが必要。
- ・各公民館の図書室の本や人員（専門知識のある人）の充実。
- ・現在の場所に新築することだけでなく、各地域にある公民館の図書室をもっと充実させて、利用者が便利だと感じるという方法もある。
- ・小学校図書室も改善してほしい。

(4) 県内自治体の公立図書館視察から

○町では、図書館構想策定委員会の委員等により、県内自治体の公立図書館の視察を行った（平成26年1月16日）。

○視察先は、二宮町図書館及び寒川総合図書館の2館。

二宮町図書館

所 在：二宮町二宮1,240番地の10

開 館：平成12年11月3日開館

複合施設「二宮町生涯学習センター（ラディアン）」内に開設
図書館は、地上1・2階、地下1階部分を占有

面 積：1,879 m²（建物全体の延床面積5,284.57 m²）

総事業費：約39億円

（用地取得で約14億円、建設工事で約22億円、備品購入で約1億5000万円 等）

蔵 書 数：210,099冊（開架111,437冊）

開館時間：午前9時30分～午後7時（平日）※土・日・祝日は午後5時まで

休 館 日：毎週月曜日、国民の祝休日の翌日、館内整理日、年末年始

- ・町域が東西南北3km強の範囲内なので、図書館の位置は町民にとって利用しやすい。
- ・1階が、子どもの本コーナー、新聞雑誌コーナー、AVコーナーになっているので利用しやすい。（多少の音は気にならない。）
- ・コーナーの配置を工夫していて、町民のニーズや高齢化などを考慮している。
（園芸書、旅行書、大活字本などが目に留まりやすい場所に配架されている。）
- ・平日の夕方5時～7時までの時間帯に毎日100名ほどが利用している。
- ・AVコーナーでの盗難防止のため、棚の向きをカウンターから見えやすい位置にするなどの工夫をしている。
- ・閉架書庫は地下に設置され、85,000冊が収納可能（手動式移動棚）

寒川総合図書館

所 在：寒川町宮山 135 番地 1

開 館：平成 18 年 11 月 3 日開館

複合施設「寒川総合図書館・寒川文書館」として開設
図書館は、地上 1～3 階（4 階が文書館）

面 積：3,431 m²（建物全体の延床面積 4,707.14 m²）

総事業費：約 30 億円

（用地取得は約 9 億円で平成 5 年購入、建設費で約 21 億円）

蔵 書 数：196,683 冊（開架 179,104 冊）

開館時間：午前 9 時～午後 7 時（平日） ※土・日・祝日は午後 5 時まで

休 館 日：毎週月曜日（祝日と重なる場合は開館）、特別整理期間、年末年始

- ・ I C タグを全図書館資料に貼付し、自動貸出システムを導入している。
- ・ 盗難対策として出入り口に持ち出し防止ゲートを設けているため、ほとんど被害はない。
- ・ 「おはなしのへや」は子どもの読書活動推進に大変有効なスペースである。
- ・ 広々としたインターネット・視聴覚スペースを持っている。
（CD・DVD席が 14 席、I T 席が 18 席）
- ・ 学習室が 3 階に独立した形で設置されている（50 席）。
- ・ 4 階の文書館には学芸員が常駐し、地元の資料が保管されている。
- ・ 閉架書庫は 2 階に設置され、100,000 冊が収納可能（電動式移動棚）

4. 図書館を取り巻く課題

【住民アンケート等を踏まえた主な課題の整理】

視 点	主 な 課 題
建物・スペース	<ul style="list-style-type: none"> ◇面積が 450 m²（3 館合わせて 536 m²）と手狭な状況であることから、必然的に蔵書の保管・開架のためのスペースに多くを占められ、住民が求めているような、ゆったりとした、開放感あるスペースとはなっていない。 ◇図書館利用について高齢者の頻度が高く、バリアフリーへの対応が求められている。 ◇親子で読書に親しめるよう、お話会などにも利用できる部屋やスペース確保に関する要望が多い。
蔵書・閲覧	<ul style="list-style-type: none"> ◇蔵書数は 73,777 冊（平成 25 年度末）で、同規模自治体の公立図書館と比べると少ない状況である。 ◇蔵書の少なさに加え、蔵書の更新も少なく、古い本が多くなっているため、読みたい本がないなどの問題を生じさせている。 ◇蔵書のうち、児童書が 34% を占めるなどの特色ある蔵書構成は、愛川町図書館のセールスポイントとも言えるが、児童書の配置がわかりにくく、子どもが自ら本を探すことが難しいとの指摘がある。
機能・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ◇カフェ（喫茶）スペースへのニーズも高い（住民の 40%、中学生の 70% が希望）。 ◇開館日数や開館時間の拡大が求められている。 ◇図書館職員の利用者対応への要望も少なくない。 ◇民間委託による図書館運営を望む声もある。 ◇町内全域における住民の読書活動をサポートするためには、半原・中津公民館との連携が必要である。 ◇移動図書館や学校図書館との連携も必要である。 ◇情報機器等を活用したサービスの向上が望まれる。

視 点	主 な 課 題
利用促進	<p>◇図書の貸出冊数が年々減少傾向にあることや、住民の40%、小中学生の20%は図書館を利用したことがないことから、図書館の魅力をPRしていくことが求められている。</p> <p>◇図書館での滞在時間は、住民、中学生ともに約半数が30分～1時間、小学生は40%が30分以内となっていることから、ゆったりと過ごすための場やしぐみが必要である。</p> <p>◇本に興味のない人も気軽に集えるような図書館であることが求められている。</p> <p>◇図書館に対する満足度については、住民の60%が満足、30%が不満、中学生では90%が満足、小学生ではほぼ100%が満足となっており、小中学生に比べると、住民の評価は厳しくなっている。</p>

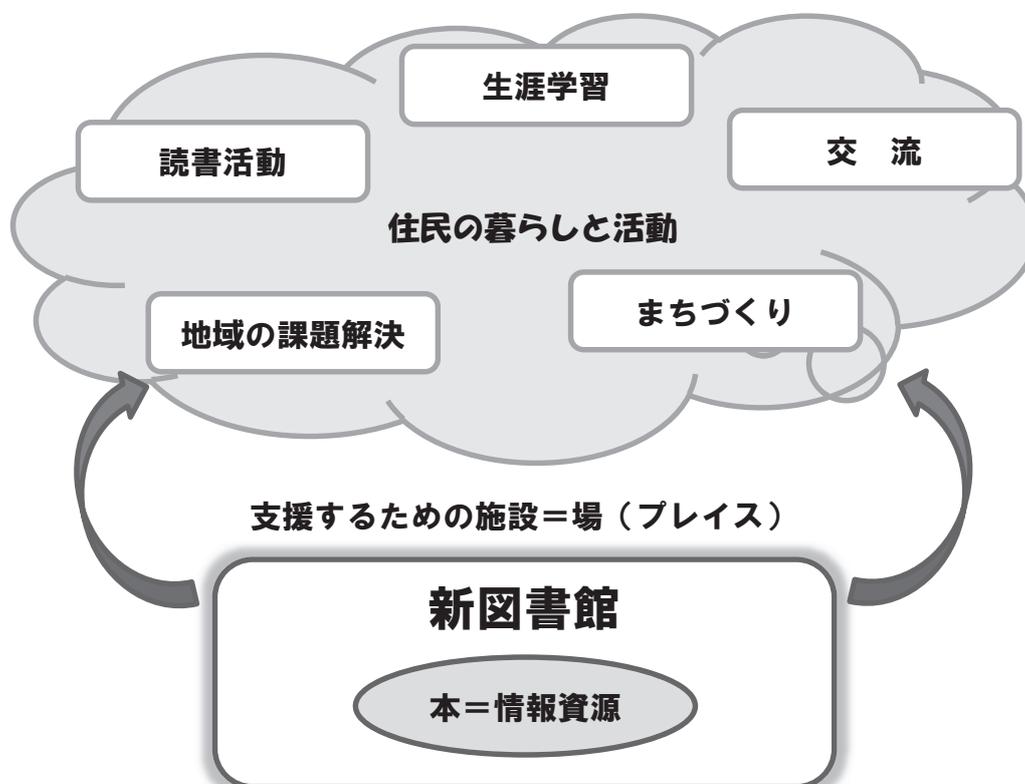


5. 図書館構想の基本的方向性

(1) 基本理念

図書館構想の基本理念として、新図書館が目指すべき姿を次のように設定します。

新図書館は、住民の読書活動を支えるだけではなく、「本」という“情報資源”を核としながら、生涯学習や交流、地域の課題解決やまちづくりなど、住民の暮らしと活動を支援するための施設＝場（プレイス）であることを目指します。



(2) 基本方針

新図書館が、住民に愛され、利用される施設であるためには、住民からのニーズに応えるだけでなく、関心・興味・憩いを生み出すような仕掛けが必要です。

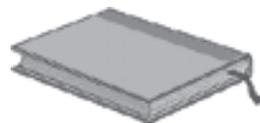
そのためには、「本」という“知の財産”をキーワードに、愛川町らしい図書館を創造していくことが重要となります。

こうした想いを踏まえながら、図書館構想の基本方針として次の4つを掲げます。



基本方針 1 生涯学習の拠点施設としての図書館

- 団塊の世代が高齢者となる 2015 年問題や、後期高齢者に仲間入りする 2025 年問題などを含め、住民のライフスタイルは大きく変わることが想定されます。
- 特に、生涯学習へのニーズの高まりが想定されることなどから、住民に対する生涯学習支援の機能充実が不可欠です。
- 多くの住民が利用したいと感じる施設であるためには、住民の関心・興味を引き出す様々な仕掛けが必要となります。

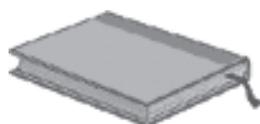


これからの図書館には、住民の生涯学習活動を支える地域の拠点として、中心的役割を担うことが求められます。

生涯学習の拠点施設として、住民誰もが学びの欲求を満たすことのできる図書館を目指します。

基本方針2 子どもたちが集い、学び、育つ図書館

- 子どもたちが本を自由に選択し、読書の楽しさと喜びを知ることができるよう、魅力的な図書の整備が求められています。
- 親子で読書を楽しめる場や、読書ボランティアによるお話会が開催できる場など、幼少期から読書活動に親しむことのできる場づくりが必要となります。
- “滞在型図書館”として、小さな子どもから中高生まで、興味のある本を時間をかけてゆっくりと読むことや、じっくりと調べ学習ができる学びのスペースが図書館機能として望まれます。

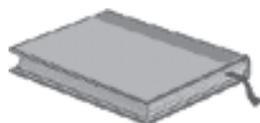


“子どもの読書活動”は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、さらには創造力を豊かなものにするなど、これからの未来を担う子どもたちを育てる上で欠くことのできないものです。

たくさん子どもたちが、期待に胸を膨らませ集い、学び、育つ図書館を目指します。

基本方針3 利用者のニーズに対応し、充実したサービスが提供できる図書館

- 高度情報化社会において、図書館の使命である情報の体系化・整理という役割は、今後一層、その重要性を増してくるものと想定されます。
- 地域における様々な資料・情報を有効に活用できるようにすることによって、地域の課題解決や、そのための住民の取組みが活性化することも大いに期待されます。
- 様々な地域課題を、住民と行政が協働して解決していくための情報支援施設として、図書資料・情報の充実だけでなく、司書を要とするレファレンス機能・情報検索機能の充実が重要になってきます。



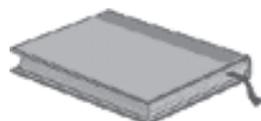
これからの図書館には、図書資料の貸出だけでなく、利用者の多様なニーズに対応した機能が求められます。

地域の“情報ネットワーク拠点”として、司書資格を有した専門職員による、サービスが行き届いた図書館を目指します。

基本方針4

“ふるさと愛川”をアピールする図書館

- 町の魅力づくりやその発信が重要性を増している中、図書館を拠点にした取組みが期待されています。
- 郷土資料館との連携など、町の魅力を来館者に感じてもらえる機能を備えることが重要です。
- 図書資料についても、愛川町ならではの地域資料を充実させることが重要です。



これからの図書館には、その立地する地域の歴史・文化・産業などの特徴を活かした個性ある図書館であることが求められます。

いつでも“ふるさと愛川”にふれ、住民誰からも愛される、気軽に誰もが行きたくなる、愛川町ならではの図書館を目指します。

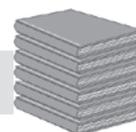


6. 新図書館が目指す機能

基本理念や基本方針を踏まえつつ、新図書館では次のような機能の整備を図っていきます。

(1) 図書館としての核機能

蔵書機能



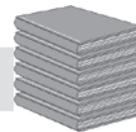
蔵書については充実を図っていきますが、蔵書の規模（蔵書冊数）だけでなく選書を工夫し、愛川町らしい特色ある蔵書構成を目指します。

また、愛川町の地域・郷土資料を幅広く収集・保存し、愛川町に関する文献資料の活用を図ります。

愛川町の様々な計画書・調査報告書・統計資料等を含め、まちづくり・行政関係の各種資料についても保存し、まちづくりに関する住民の情報ニーズに応えられるようにします。

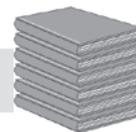
また、こうした機能を発揮できるよう、閉架書庫を含めたスペースの確保を図ります。

閲覧機能



図書館の落ち着いた空間で本を探したりできるように、ゆったりとした開架スペースを確保するとともに、くつろぎの時間を演出するようなテーブル・デスクやチェア・ソファを配置した読書スペースを設けます。

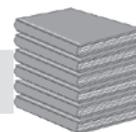
貸出機能



個人貸出、団体貸出の他、借りたい図書の予約サービスや図書館ネットワークを通じた貸出等の充実を図ります。

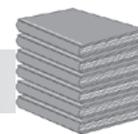
また、貸出に伴う手続き・管理等の効率化・合理化を図るため、ICタグの導入についても検討していきます。

レファレンス機能



レファレンス窓口や参考資料コーナーを設けるとともに、レファレンス協同データベースの活用等を通じて、サービスの充実を図っていきます。

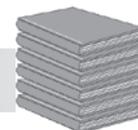
ネットワーク機能



町内の読書・読み聞かせボランティアサークル等の活動を支援するとともに、図書館と公民館図書室・学校図書館・移動図書館が連携しながら、住民の読書活動を支えるネットワーク体制の構築を図ります。

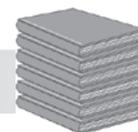
(2) 核機能を支えるためのサービス機能

書斎機能



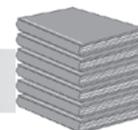
図書館で学習をしたり、調べものをしたりするためのスペース（学習室）を確保するとともに、スペースの利便性を高めるため、パソコン等の端末機器の持ち込みや使用ができるようにしていきます。

子ども読書活動機能



親子で一緒に並んで読書ができるスペースや絵本等の読み聞かせができるお話の部屋などを設けるとともに、児童図書の本棚については、子どもの背丈等に配慮するなど、子ども読書活動を支援する機能の充実を図ります。

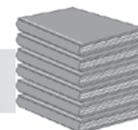
福祉サービス・バリアフリー機能



視覚障がい者等の読書活動を支援するため、大活字本コーナーや朗読サービスの提供等を図ります。

また、多機能トイレ、子ども用トイレやエレベーターの設置等、誰もが安心して気軽に利用できるバリアフリーの図書館を目指します。

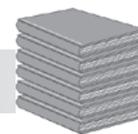
情報発信機能



新刊案内、読書案内、イベント案内等の情報発信により、住民の本や読書に関する関心・興味の向上や図書館の利用促進を図っていきます。

情報発信にあたっては、インターネット等を含めた様々な媒体の活用を図るとともに、図書館ニュースの発行についても検討していきます。

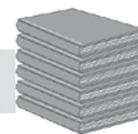
情報機器機能



情報機器活用コーナーや視聴覚コーナーを設け、情報の検索や視聴覚サービスの利用など住民の利便性の向上を図ります。

(3) 身近な図書館となるための機能

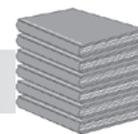
イベント機能



図書館を身近な施設として感じていただけるよう、本・文学などをテーマにした講座・講演会、映画上映会等を開催するほか、郷土資料館との連携による愛川町をアピールするイベント等の開催についても企画・検討していきます。

そのために、こうした様々なイベント開催にも活用できるような多目的スペース（会議室）を整備します。

交流機能



本を中心としながら、そこに住民誰もがいつでも気軽に立ち寄り、語り合うことができる図書館であるために、また、そこでゆったりとした気分でくつろいだ時間を過ごせる図書館であるために、住民の憩いの場（プレイス）となるよう、カフェ（喫茶）スペースの整備等についても検討していきます。

7. 新図書館の施設整備

新図書館の施設整備に際して、“施設のコンセプト”及び“施設の構成イメージ”の2つの視点から検討・整理しています。

施設のコンセプト

～ 利用者の視点に立った館内レイアウト、スペースの確保 ～

- 太陽光が注ぐ、明るく温かな館内
- 吸音材を導入した静寂感のある館内
- ゆったりとした開架スペース
- 誰もが利用できるようなユニバーサルデザインへの配慮
- まちの景観、周辺環境に配慮したデザイン
- 環境への配慮、省エネルギー（ソーラーパネル等）
- 施設・設備への初期投資やランニングコストの軽減

施設の構成イメージ

主なスペース	コーナー
子どもの読書スペース	◇お話の部屋 ◇子どもの本コーナー ◇青少年図書コーナー
大人の読書スペース	◇新聞・雑誌コーナー ◇一般書コーナー
視覚障がい者のための支援スペース	◇朗読サービスコーナー
学習するスペース	◇学習室
視聴覚・情報検索スペース	◇視聴覚・情報機器活用コーナー
生涯学習のための多機能スペース	◇会議室（多目的室）
ふるさと愛川に親しむスペース	◇企画展示室
町民が集うスペース	◇喫茶コーナー
閉架スペース	◇閉架書庫
事務・レファレンススペース	◇事務・レファレンスコーナー

日本図書館協会の基準値

日本図書館協会策定の「公立図書館の任務と目標」に記載された「図書館システム整備のための数値基準」に基づき、人口 42,000 人として算出した数値を示します。

	人口	延床面積	蔵書冊数	開架冊数
基準値	42,000 人	2,835 m ²	222,310 冊	139,023 冊

県下自治体の図書館規模

	人口	延床面積	蔵書冊数	開架冊数
愛川町図書館	41,670 人	450 m ²	73,777 冊	65,099 冊
寒川総合図書館	47,385 人	3,431 m ²	196,683 冊	179,104 冊
葉山町立図書館	33,618 人	2,034 m ²	148,392 冊	52,000 冊
大磯町立図書館	32,523 人	1,864 m ²	204,625 冊	87,969 冊
二宮町図書館	28,870 人	1,879 m ²	210,099 冊	111,437 冊

※平成 25 年度末の数値（神奈川県図書館協会発行「神奈川の図書館 2014」より）を掲載。

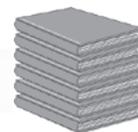
※蔵書・開架冊数について、愛川町図書館は半原・中津公民館図書室、寒川総合図書館は北部・南部分室を含む。

8. 新図書館の管理・運営

新図書館の管理・運営について、“利用者へのサービス充実”及び“効果的な管理・運営”の2つの視点から検討・整理しています。

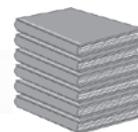
(1) 利用者へのサービス充実の視点

住民ニーズへの対応



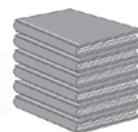
- ◆生涯学習の拠点施設として、住民ニーズに応じた各種支援に取り組みます。
- ◆閲覧スペースの本棚（書架）について、子どもから高齢者まで、住民誰もが利用しやすい配列の工夫等に取り組みます。
- ◆図書館における読書活動や生涯学習活動など、住民の図書館利用における利便性向上を図るため、利用者が自由に活用できる情報ツールの整備・提供に取り組みます。
- ◆バリアフリー等に配慮した施設整備を行うとともに、障がい者等の図書館利用や読書活動を支援するためのサービス提供に取り組みます。

図書館システムの導入



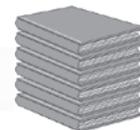
- ◆図書貸出等における利用者の利便性向上や図書の無断持ち出し防止等を図るため、図書管理システムの導入に取り組みます。
- ◆町内図書館のネットワーク化を図るため、学校図書館についてオンライン化の検討を進めます。

専門職員の適正配置及び育成



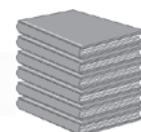
- ◆レファレンス機能など、図書館機能の充実を図るため、司書を配置します。
- ◆利用者の多様なニーズに対応できるよう、職員研修等を通じて、図書館職員の資質向上・スキルアップに取り組みます。

(2) 効果的な管理・運営の視点



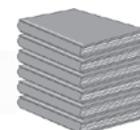
図書館運営計画

- ◆ 図書館運営にあたっては、図書館運営計画を策定（Plan）するとともに、計画に基づく実施（Do）、検証（Check）、計画の見直し（Action）のPDCAサイクルによる計画的・効果的な運営に取り組みます。
- ◆ 図書館運営計画については、図書館利用者等で組織する協議会で進行管理します。
- ◆ 図書館の運営状況等については、図書館年報の作成により、わかりやすく整理していきます。



開館日・開館時間

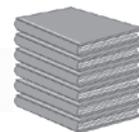
- ◆ 図書館利用の利便性向上を図るため、利用状況等を踏まえ、開館日数の拡大について検討します。
- ◆ 住民のライフスタイルの多様化等に配慮し、開館時間の延長について検討します。



図書・図書館に関する情報提供

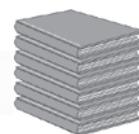
- ◆ 図書館をより身近な施設として親しんでいただくため、図書館による広報紙の発行に取り組みます。
- ◆ 図書館ホームページにより、新刊図書やイベント情報の案内などの情報機能を充実させます。

ネットワーク



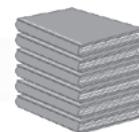
- ◆町外の図書館とのネットワーク形成を図り、利用者の利便性向上に向けた図書館相互の協力体制の充実に取り組みます。
- ◆町の魅力発信や生涯学習への支援充実を図るため、郷土資料館との連携強化に取り組みます。
- ◆住民の読書活動の推進を図るため、読書ボランティアに対する支援充実に取り組みます。

蔵書管理

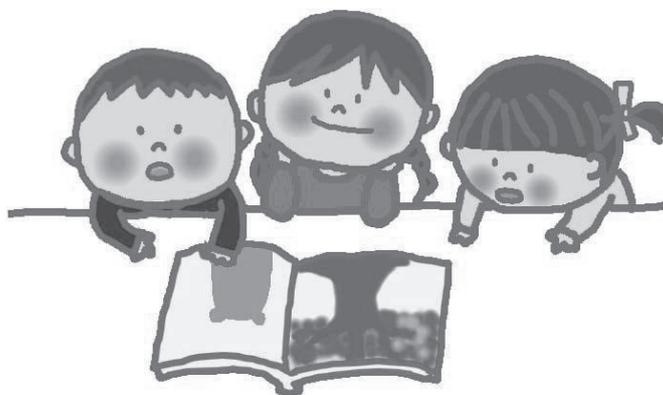


- ◆蔵書の充実に向けては、蔵書数の増加を目指すだけでなく、愛川町の図書館らしい特色ある選書を進め、計画的な図書の収集に取り組みます。
- ◆町の行政資料を含めた、地域に関する資料の収集・保存に配慮します。

図書館管理・運営



- ◆図書館の管理・運営については、利用者の利便性や運営上の合理性等を勘案しつつ、町直営とするか、民間委託を行うか、慎重な検討を進めます。



資料編

愛川町図書館構想策定委員会名簿

敬称略

番号	役職名	氏名	所属等
1	委員長	萩原 庸元	町生涯学習推進協議会
2	副委員長	木藤 美智子	町社会教育委員
3	委員	安田 春政	公募委員
4	委員	伊藤 由紀子	公募委員
5	委員	鈴木 美由紀	町読書普及懇話会
6	委員	小島 一浩	町立小学校長
7	委員	染矢 智美	町立小中学校図書館担当教諭
8	委員	森 あかね	学識経験を有する者 (県立図書館)

愛川町図書館構想策定の経過

月 日	内 容
平成 25 年 7 月 11 日 (木)	平成 25 年度 第 1 回愛川町図書館構想策定ワーキンググループ会議 (議題) ○愛川町図書館構想策定スケジュール ○愛川町図書館住民アンケート
7 月 25 日 (木)	第 1 回愛川町図書館構想策定検討会 (議題) ○愛川町図書館構想策定スケジュール ○愛川町図書館住民アンケート
8 月下旬～ 9 月上旬	「愛川町図書館に関するアンケート調査」実施
10 月 30 日 (水)	第 2 回愛川町図書館構想策定検討会 (議題) ○愛川町図書館に関するアンケート結果 ○今後のスケジュール
11 月 22 日 (金)	第 1 回愛川町図書館構想策定委員会 (議題) ○愛川町図書館の現状 ○愛川町図書館に関するアンケート結果 ○今後のスケジュール
12 月 9 日 (月)	関係団体ヒアリング実施
平成 26 年 1 月 16 日 (木)	二宮町図書館、寒川総合図書館視察
3 月 13 日 (木)	第 2 回愛川町図書館構想策定委員会 (議題) ○図書館視察のまとめ ○愛川町図書館構想に向けて ○26 年度のスケジュール

月 日	内 容
平成 26 年 5 月 13 日 (火)	平成 26 年度 第 1 回愛川町図書館構想策定ワーキンググループ会議 (議題) ○愛川町図書館構想に向けた課題の整理 ○愛川町図書館の基本理念・基本方針 ○愛川町図書館の機能
6 月 6 日 (金)	第 1 回愛川町図書館構想策定検討会 (議題) ○愛川町図書館構想に向けた課題の整理 ○愛川町図書館の基本理念・基本方針 ○愛川町図書館の機能
6 月 18 日 (水)	第 1 回愛川町図書館構想策定委員会 (議題) ○愛川町図書館構想に向けた課題の整理 ○愛川町図書館の基本理念・基本方針 ○愛川町図書館の機能
7 月 10 日 (木)	第 2 回愛川町図書館構想策定ワーキンググループ会議 (議題) ○愛川町図書館構想策定に向けたスケジュール ○愛川町図書館の基本理念・基本方針・機能 ○愛川町図書館の施設整備・管理・運営
7 月 31 日 (木)	第 2 回愛川町図書館構想策定検討会 (議題) ○愛川町図書館構想策定に向けたスケジュール ○愛川町図書館の基本理念・基本方針・機能 ○愛川町図書館の施設整備・管理・運営
8 月 20 日 (水)	第 2 回愛川町図書館構想策定委員会 (議題) ○愛川町図書館の基本理念・基本方針・機能 ○愛川町図書館の施設整備・管理・運営 ○愛川町図書館構想策定までのスケジュール

月 日	内 容
12月10日(水)	第3回愛川町図書館構想策定検討会 (議題) ○愛川町図書館構想 ○愛川町図書館構想策定までのスケジュール
12月19日(金)	第3回愛川町図書館構想策定委員会 ○愛川町図書館構想
12月22日(月)	定例教育委員会
平成27年	
1月13日(火)	政策調整会議
1月19日(月)	行政経営会議

愛川町図書館構想

平成 27 年 3 月

発行 愛川町

編集 教育委員会生涯学習課

〒243-0392

神奈川県愛甲郡愛川町角田 251 番地 1

電話 046-285-2111 (代)

FAX 046-286-4588